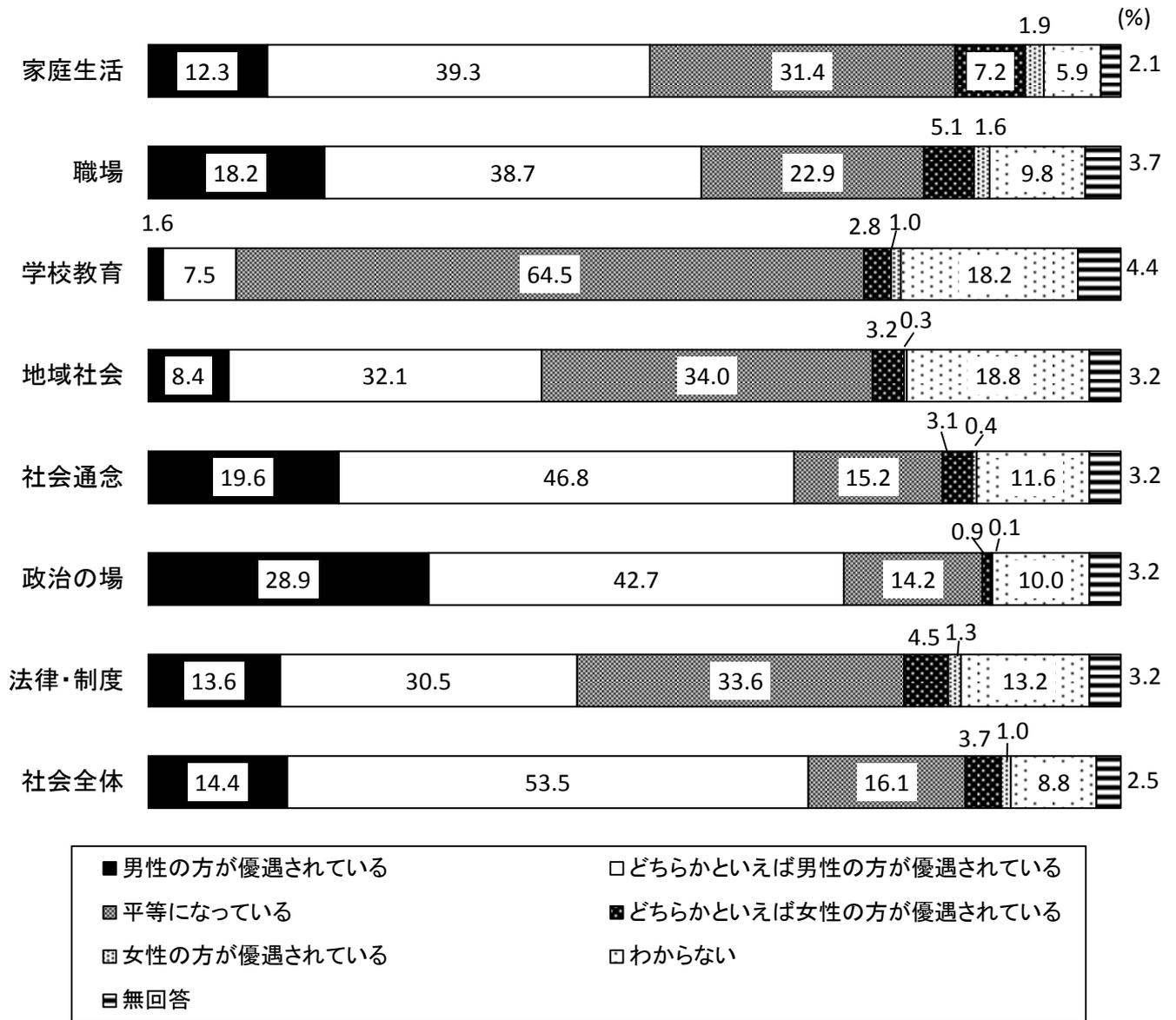


Ⅲ 調査結果

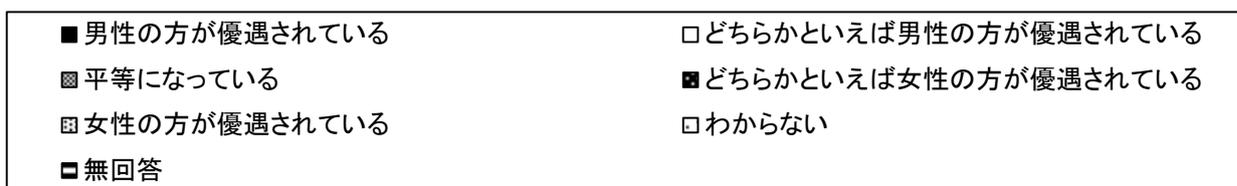
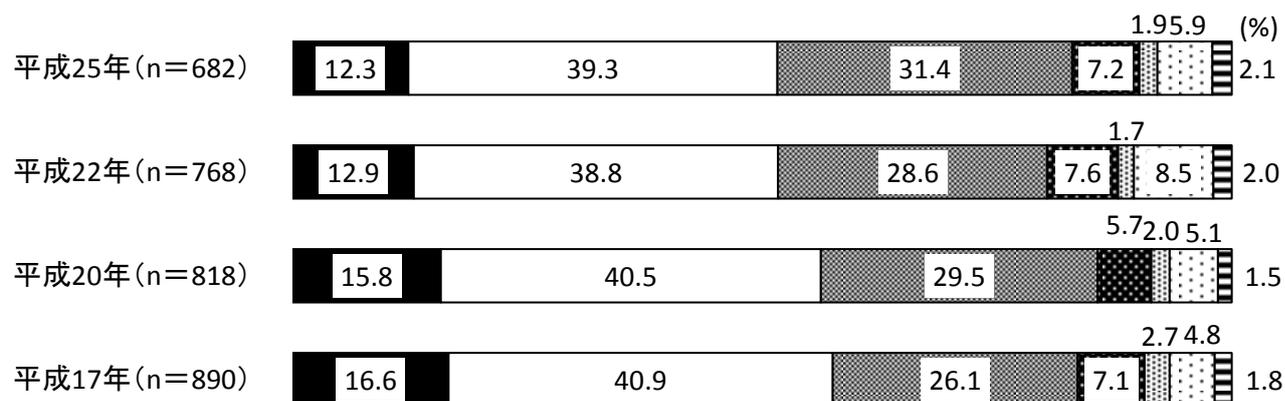
1. 男女平等について

問1 あなたは、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の(1)～(8)のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。(〇は1つずつ)



「学校教育」を除く全ての項目で「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合が多くなっており、「政治の場」の項目は7割以上、「社会通念・慣習・しきたり」、「社会全体」の項目でも6割以上の回答となっている。また、「平等になっている」では、「家庭生活」、「地域社会」、「法律・制度」の項目で3割を超えている。

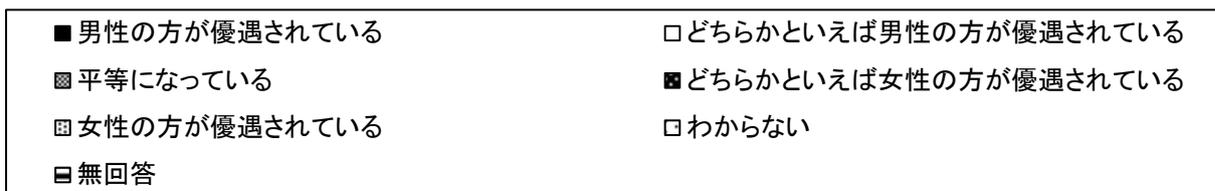
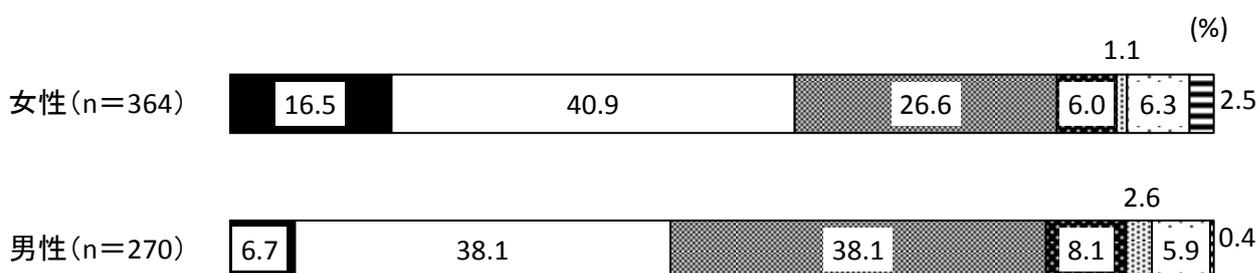
(1)家庭生活
【全体】



○内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年10月実施)「平等」47.0%
 ○栃木県「男女共同参画に関する意識調査」(平成21年11月実施)「平等になっている」29.5%
 ○佐野市「男女共同参画に関する市民アンケート」(平成24年11月実施)「平等になっている」35.4%
 ※国、県、他市の調査結果については、以下調査の名称等を略して表示します。

家庭生活において「平等」と感じている人の割合は、31.4%と前回調査(平成22年調査を言う。以下同じ)から2.8ポイント増加、平成17年調査からは5.3ポイント増加しているが、依然として「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を含め「男性の方が優遇されている」と感じている人の割合(以下「男性が優遇(計)」という)は、半数を超えている。

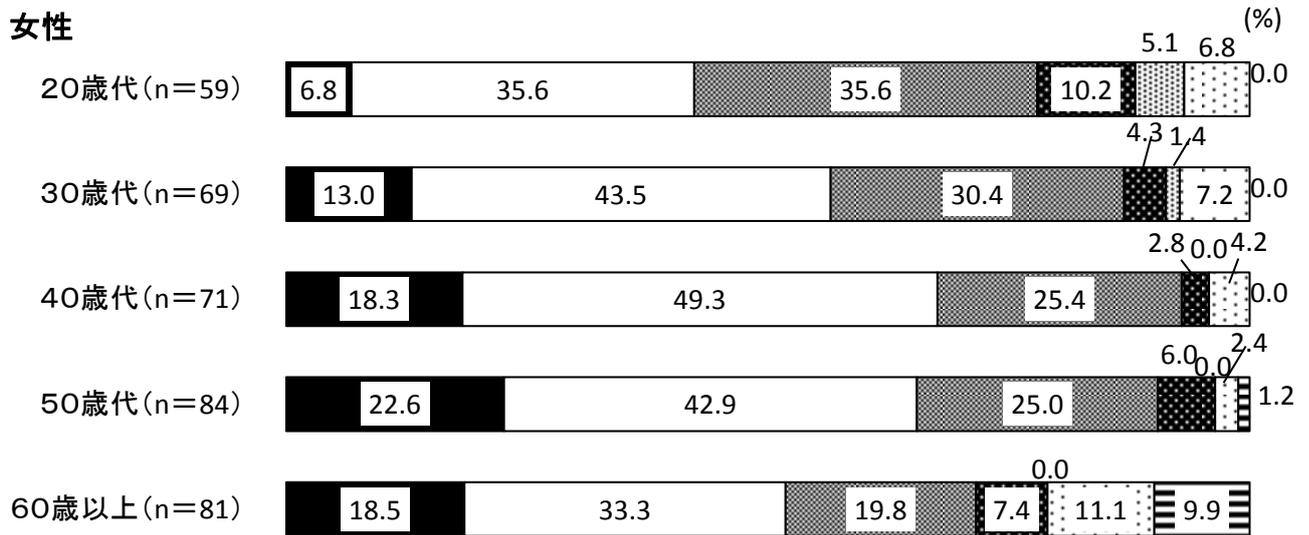
【性別】



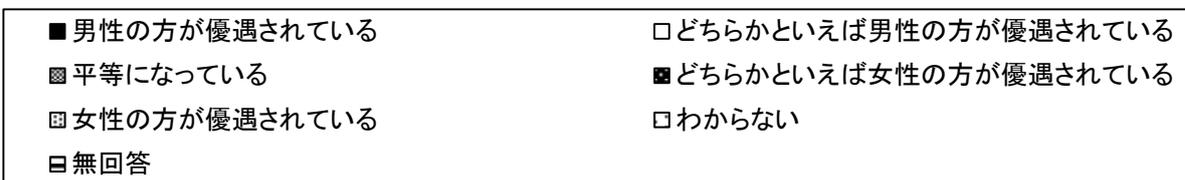
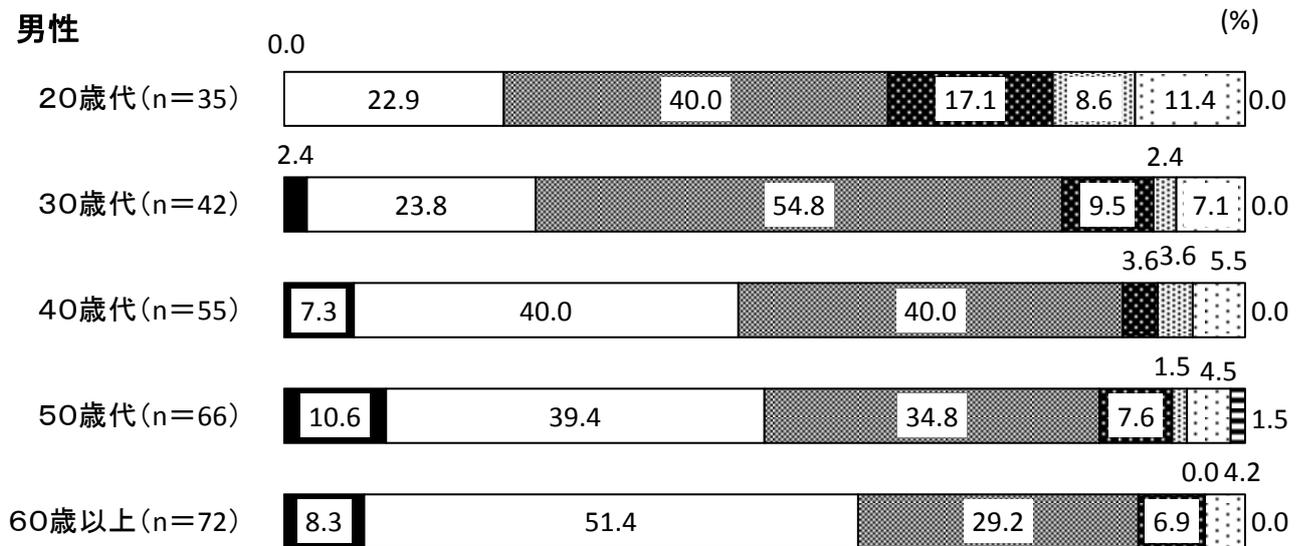
「平等」と感じている人の割合は、男性が38.1%であるのに対し、女性は11.5ポイント少ない26.6%となっており、逆に「男性の方が優遇されている」と感じている人は、男性の6.7%に対し女性は9.8ポイント多い16.5%となっている。

【性・年齢別】

女性



男性

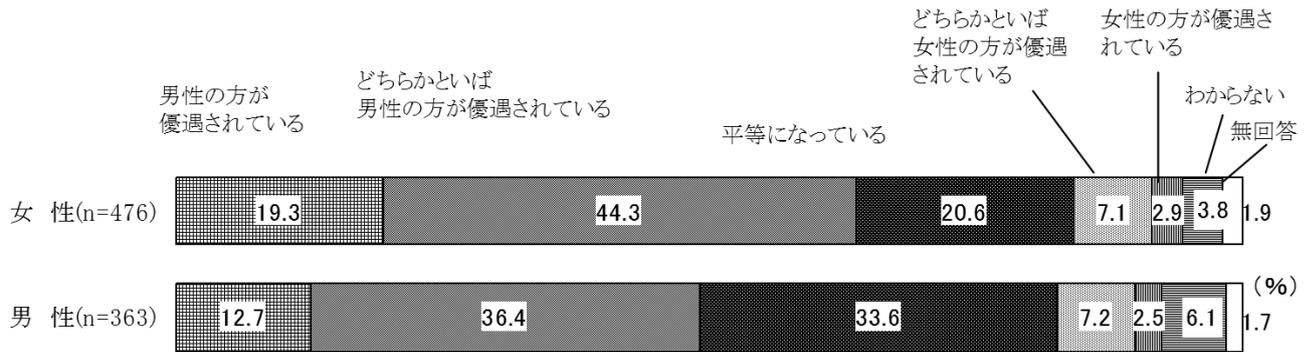


家庭生活において、「平等」と感じている人の割合が最も高い年代は、男性は30歳代(54.8%)、女性は20歳代(35.6%)となっているが、その差は19.2ポイントと差が大きい。女性は、20歳代を除いた全年代で「男性が優遇(計)」と感じている人が5割を超えている。

家庭生活

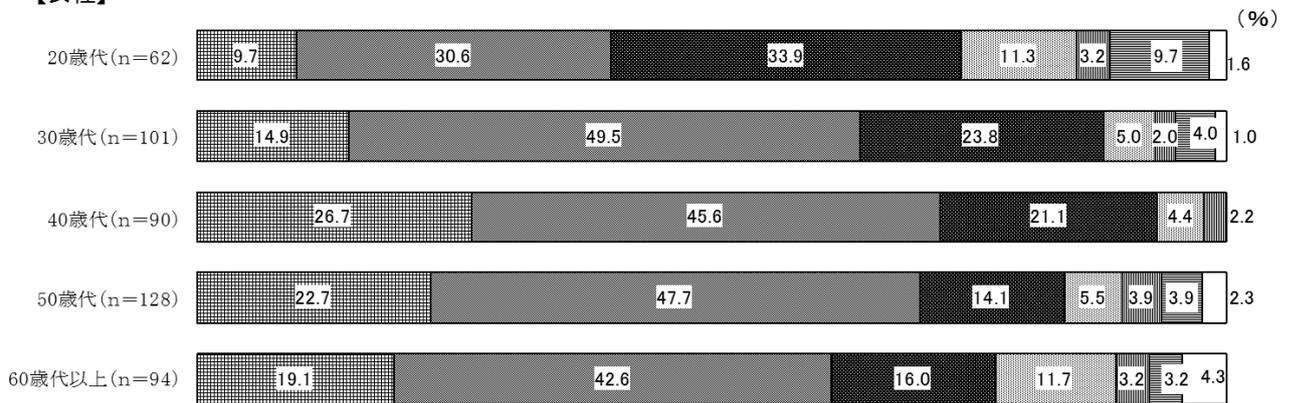
参考 平成17年10月調査結果

【性別】



【性・年齢別】

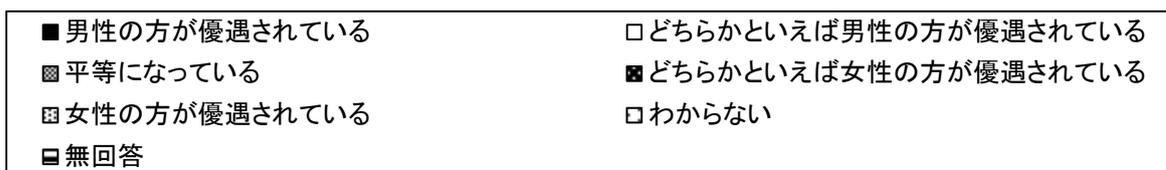
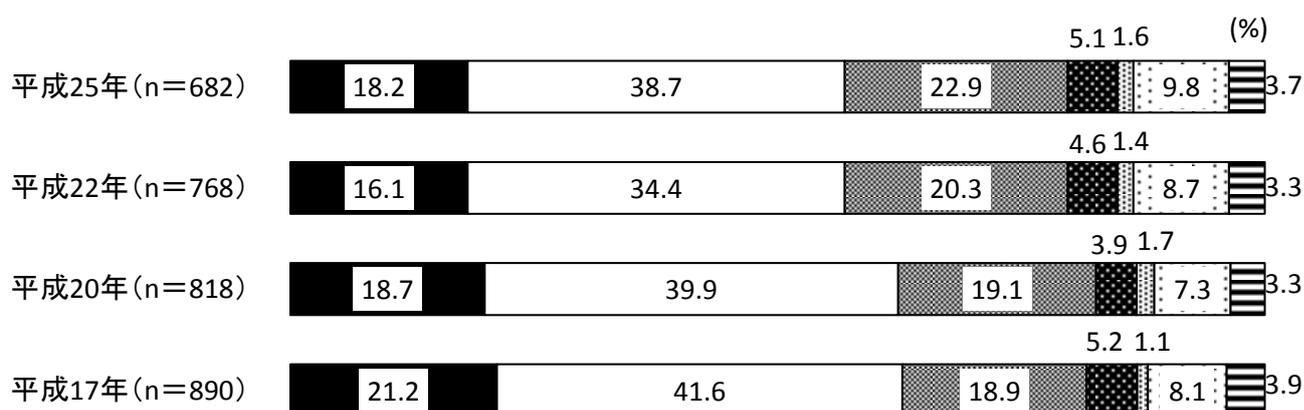
【女性】



【男性】



(2) 職場
【全体】



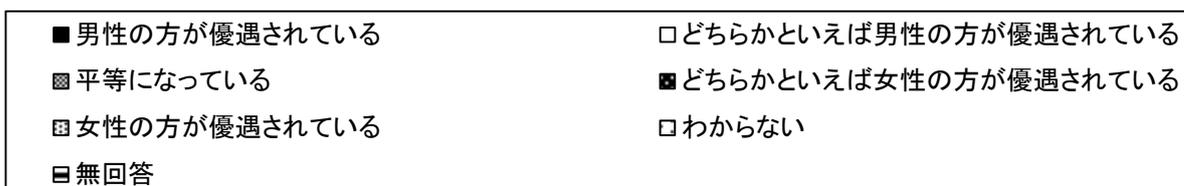
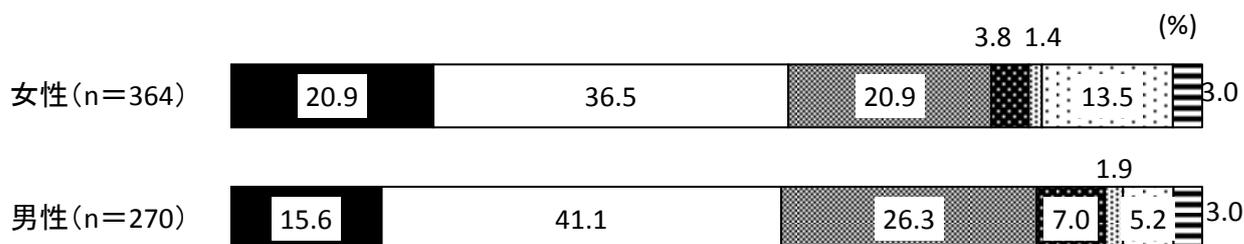
○内閣府(H24.10)「平等」28.5%

○佐野市(H24.11)「平等になっている」22.4%

○栃木県(H21.11)「平等になっている」17.2%

職場において「男性が優遇(計)」と感じている人の割合は、56.9%と前回調査より6.4ポイント多くなっているが、「平等」と感じている人の割合も平成17年調査から徐々に増加している。

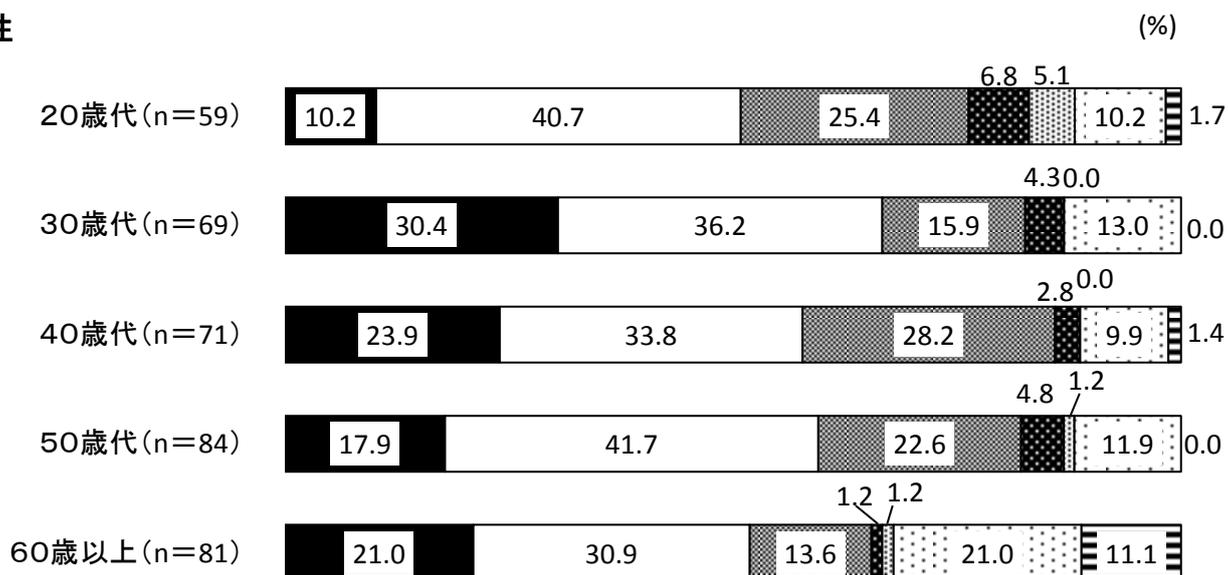
【性別】



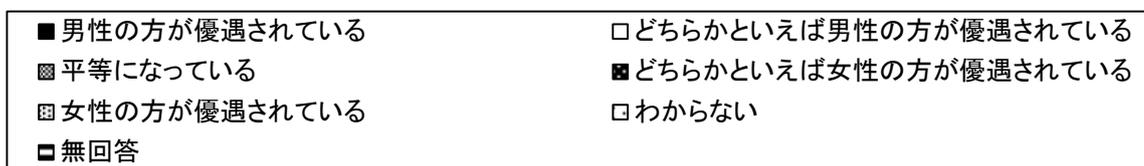
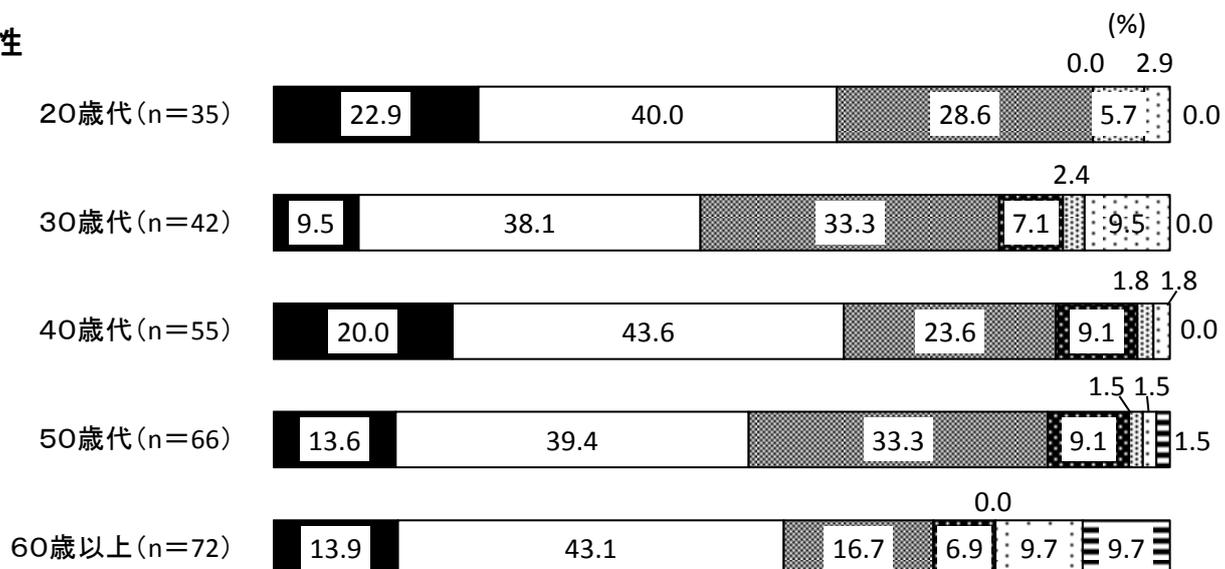
「平等」と感じている人の割合は、女性が20.9%であるのに対し、男性は5.4ポイント多い26.3%となり、平成17年調査からは男女とも増加している。

【性・年齢別】

女性



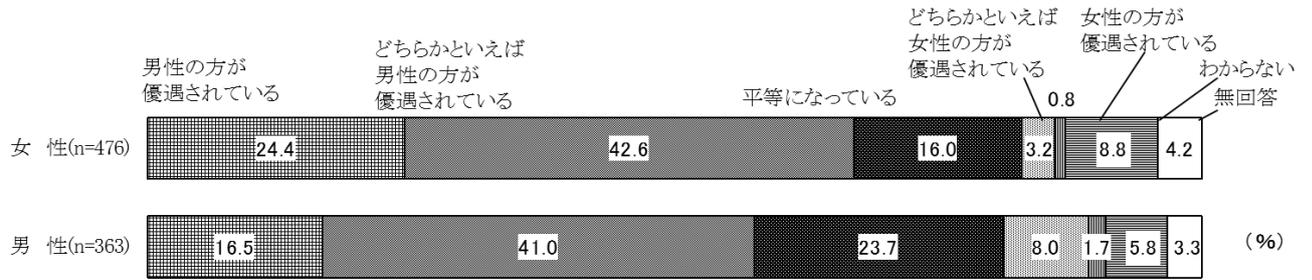
男性



職場において、「男性が優遇(計)」と感じている人の割合は、女性は全年代で5割を超えており、男性は30歳代を除く全ての年代で5割を超えている。また、「平等」と感じている人の割合は、男女とも年代によって大きな差があり、60歳以上は男女とも2割以下となっている。

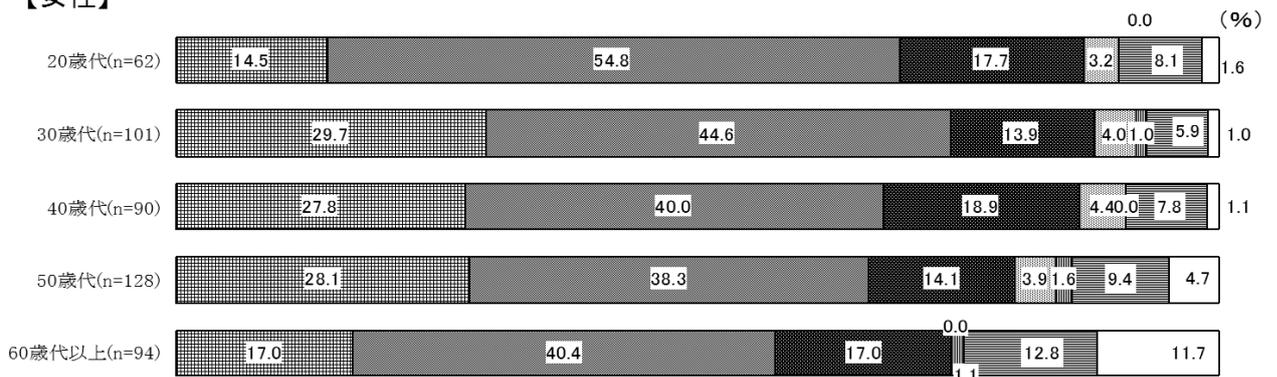
職場

参考 平成17年10月調査結果
【性別】

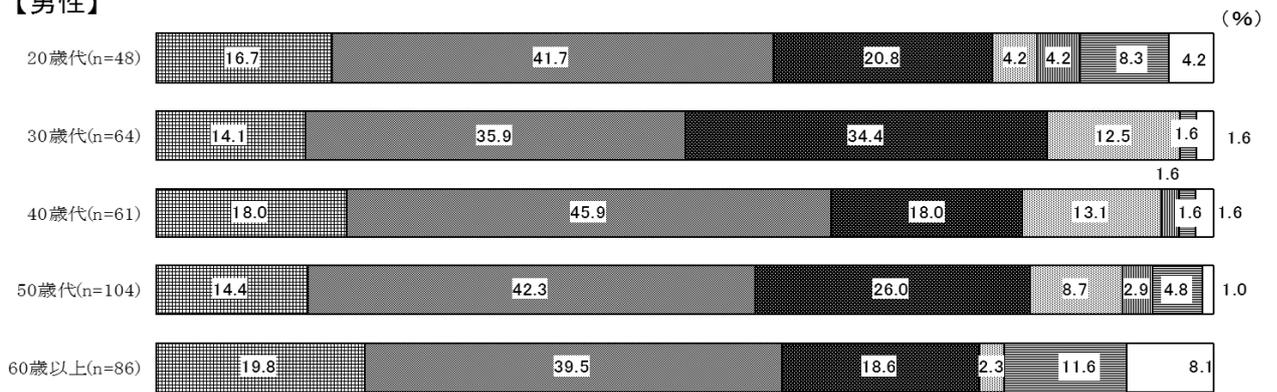


【性・年齢別】

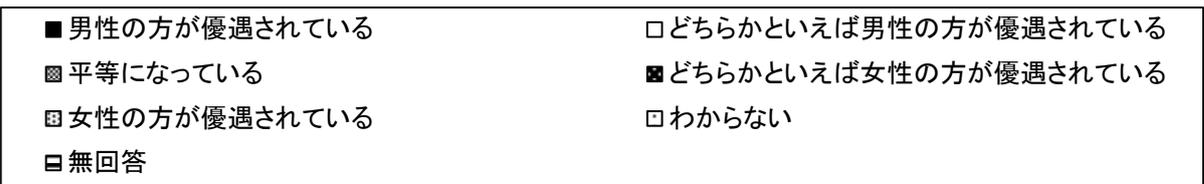
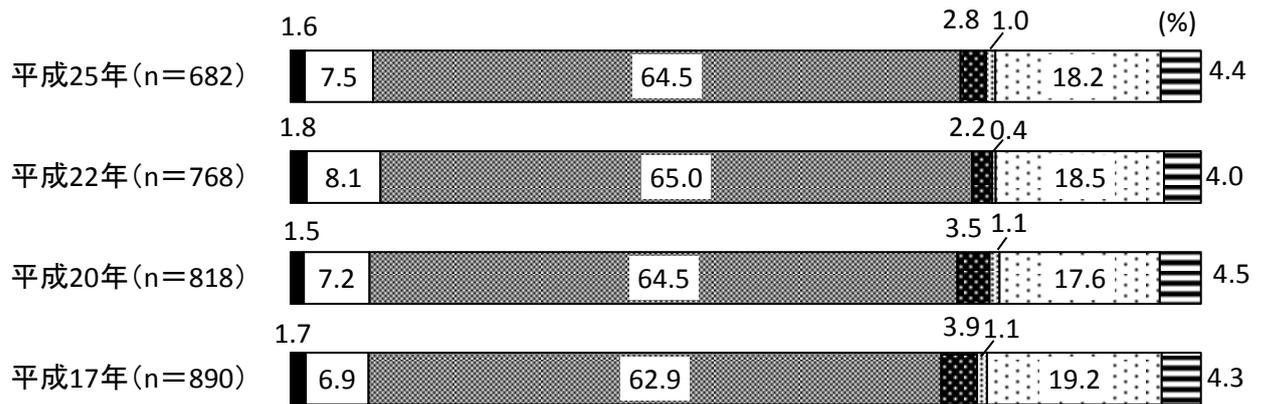
【女性】



【男性】



(3)学校教育
【全体】



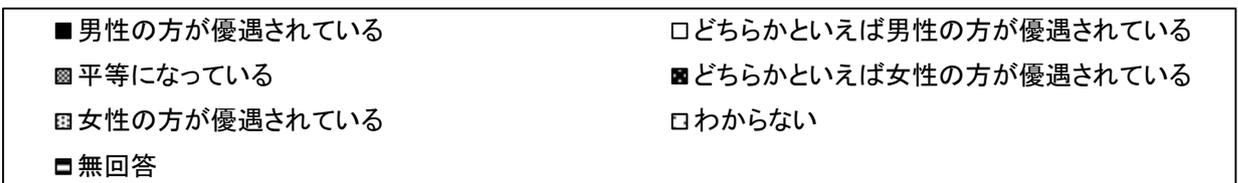
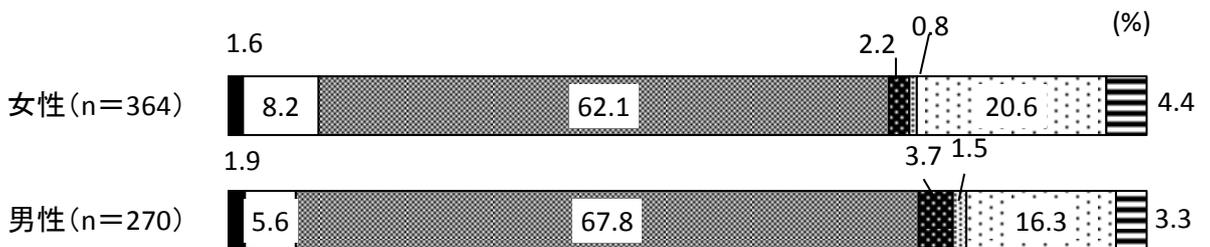
○内閣府(H24.10)「平等」67.0%

○佐野市(H24.11)「平等になっている」50.4%

○栃木県(H21.11)「平等になっている」50.9%

学校教育において「平等」と感じている人の割合は、64.5%と前回調査に比べ0.5ポイント少ないが、平成17年調査開始以降ほぼ横ばいである。

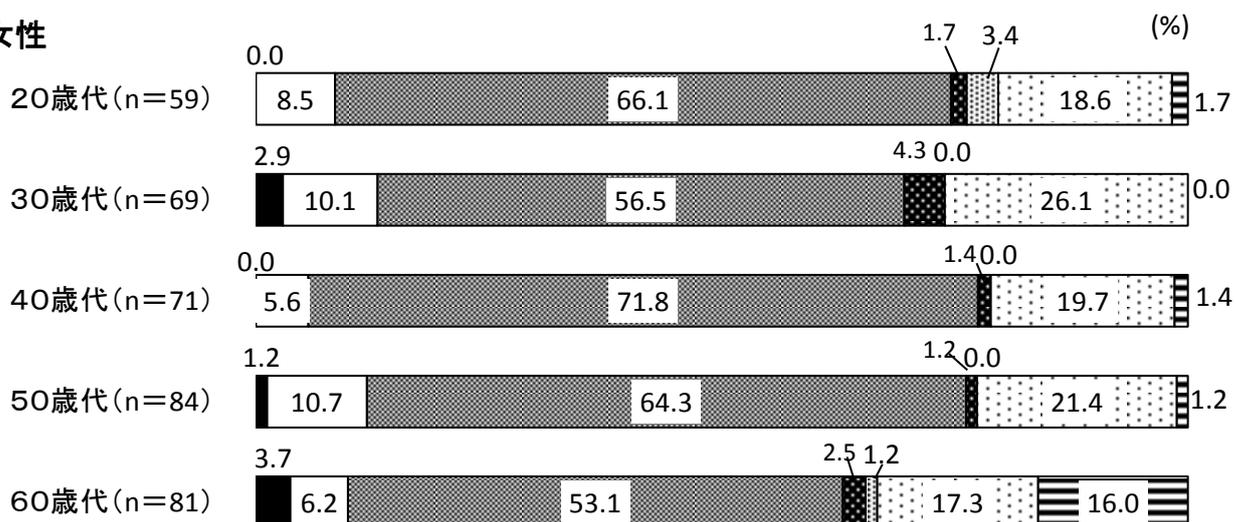
【性別】



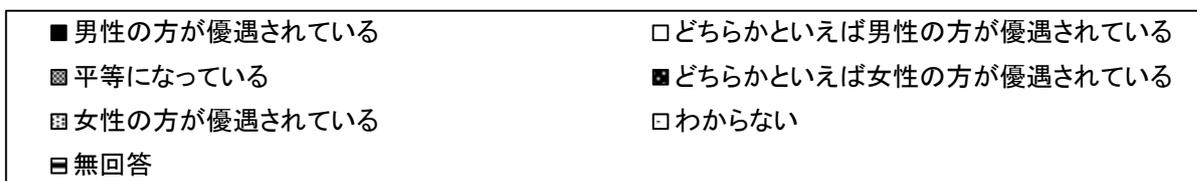
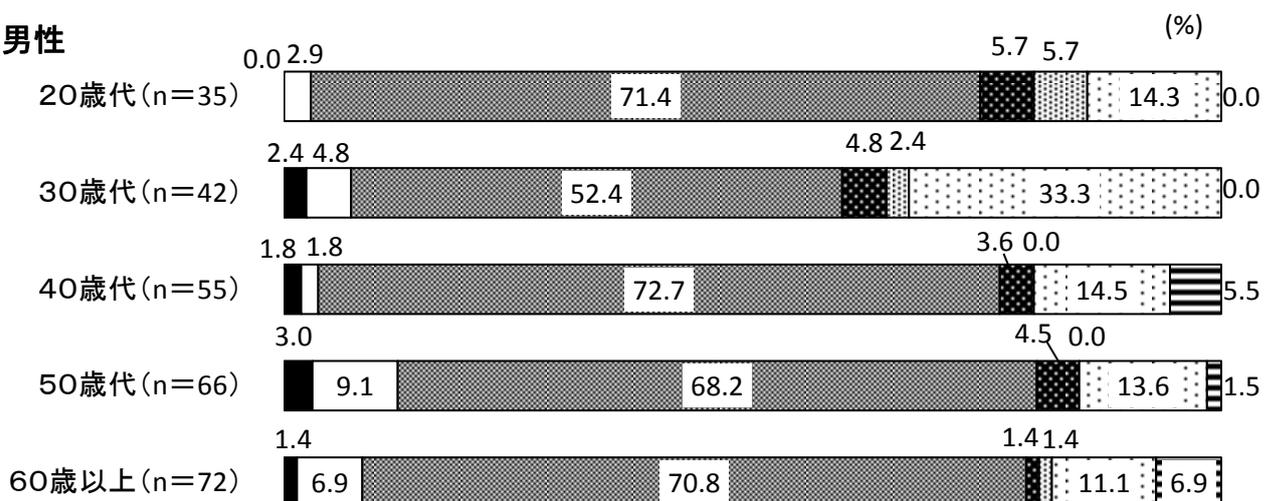
「平等」と感じている人の割合は、男性が67.8%であるのに対し、女性は5.7ポイント少ない62.1%となっており、どちらも平成17年調査からは増加している。

【性・年齢別】

女性



男性



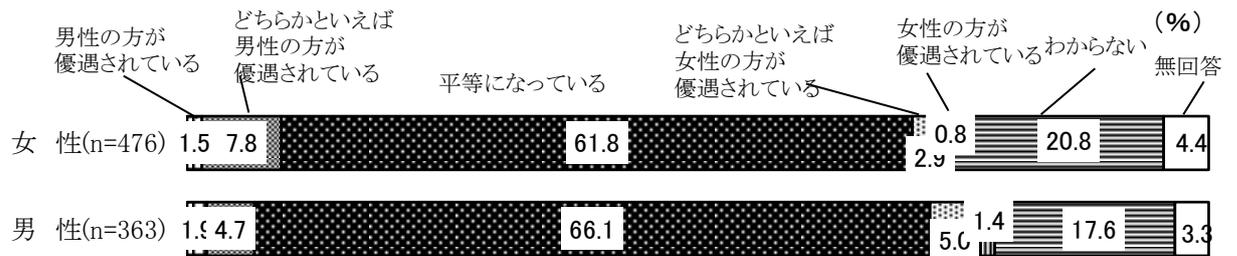
学校教育において、「平等」と感じている人の割合は平成17年調査と比べ、50歳代の女性と20・40・50歳代、60歳以上の男性で増加している。

これに対し、他の年代では減少しており、特に30歳代の男性で22.6ポイントと大きく減少している。

学校教育

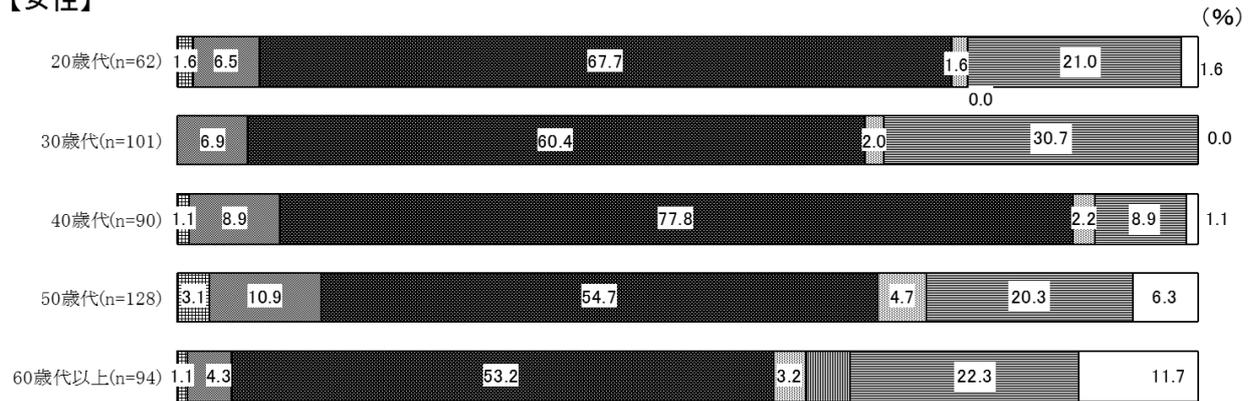
参考 平成17年10月調査結果

【性別】

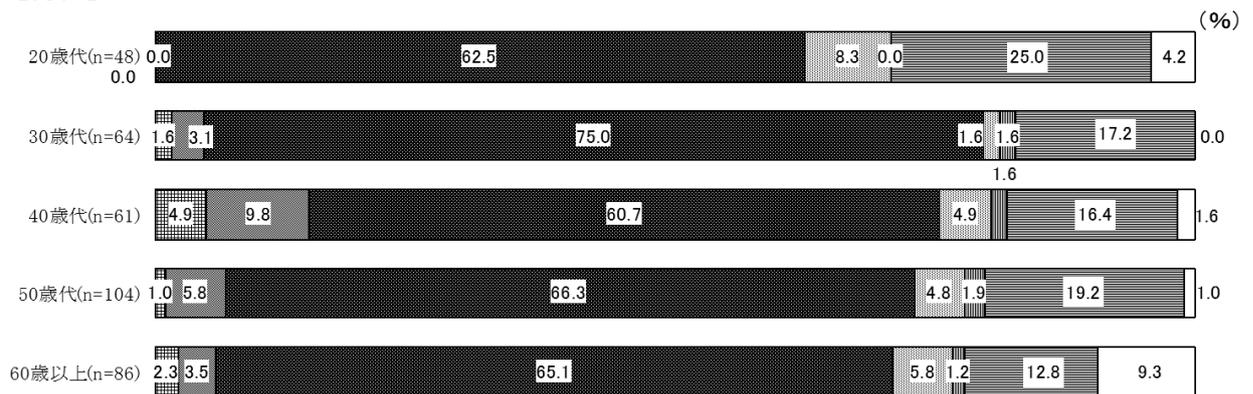


【性・年齢別】

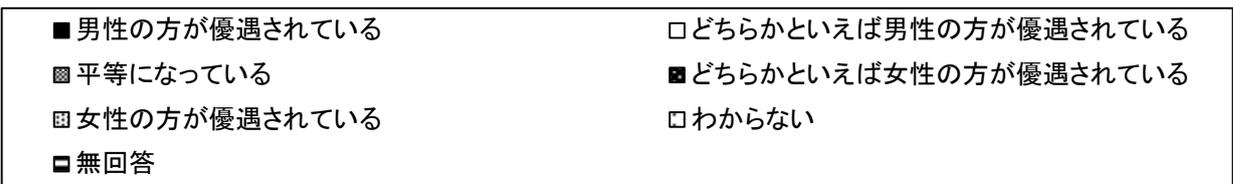
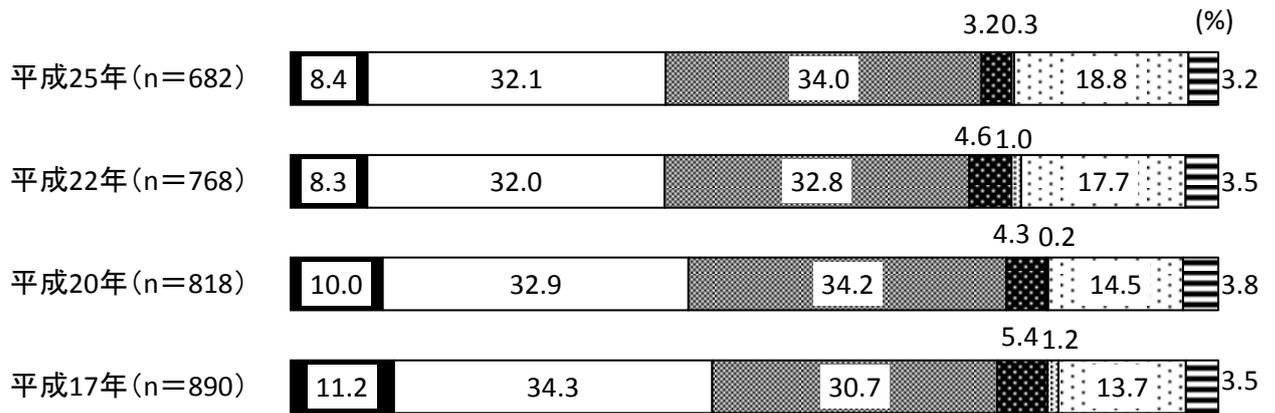
【女性】



【男性】



(4)町内会や自治会などの地域社会
【全体】

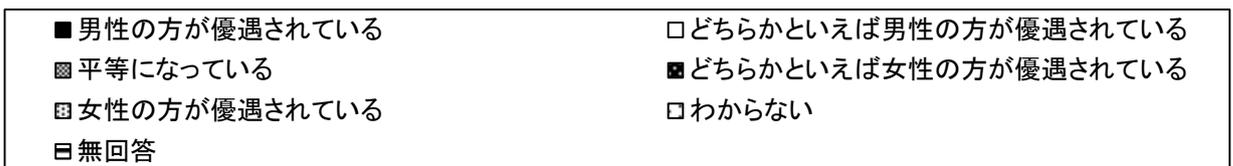
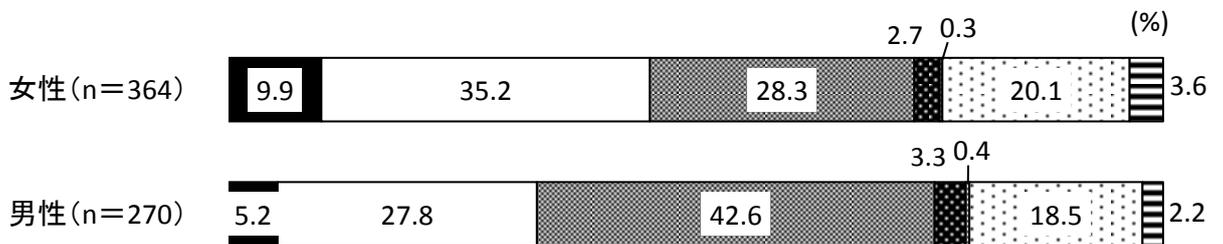


○内閣府(H24.10)「平等」52.1%
○栃木県(H21.11)「平等になっている」27.7%

○佐野市(H24.11)「平等になっている」32.4%

地域社会において、「平等」と感じている人の割合は、34.0%と平成17年調査から3.3ポイント増加している。これに対し、「男性が優遇(計)」は40.5%と平成17年調査から5ポイント減少している。

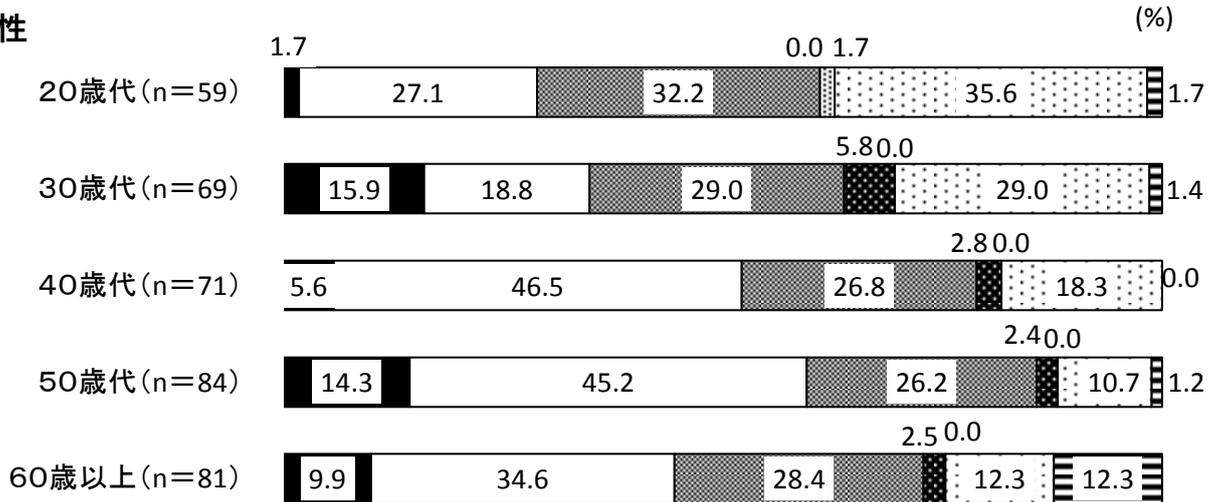
【性別】



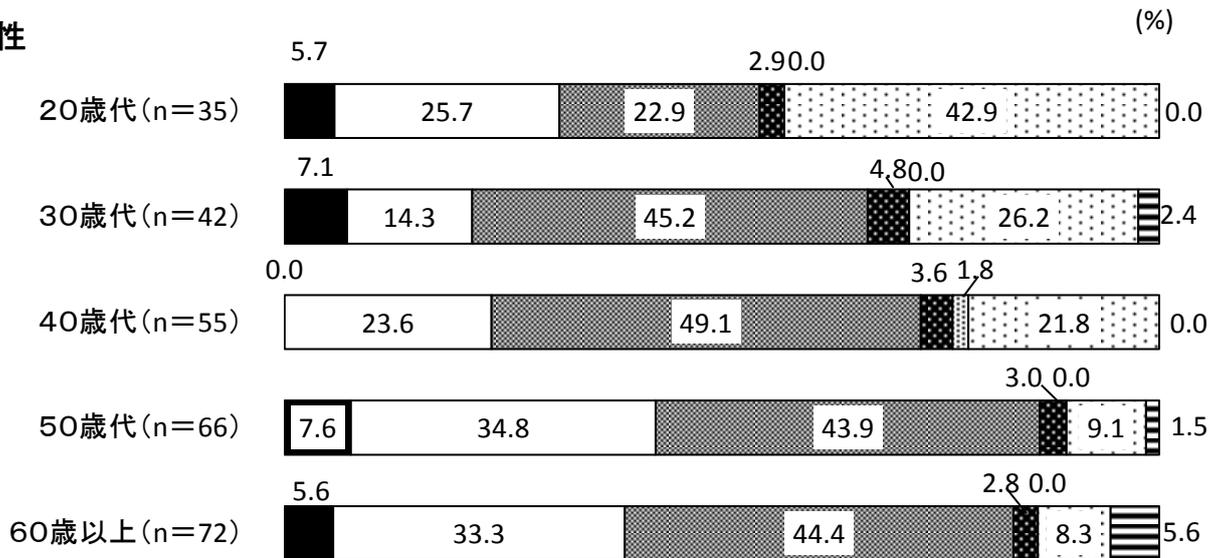
「平等」と感じている人の割合は、女性が28.3%であるのに対し、男性は14.3ポイント多い42.6%となっており、どちらも平成17年調査からは増加している。

【性・年齢別】

女性



男性



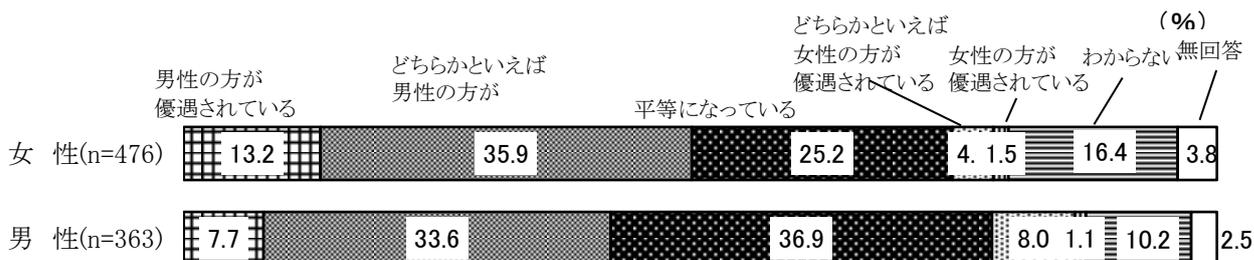
- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

地域社会において、「平等」と感じている人の割合で平成25年と17年調査を比べると、女性は60歳以上を除く全ての年代、男性は40・50歳代、60歳以上で増加し、特に30歳代の女性で9.2ポイント、50歳代の男性で14.1ポイント増加している。これに対し、20歳代の男性は12.5ポイント減少しており、年代による差が大きい。

地域社会

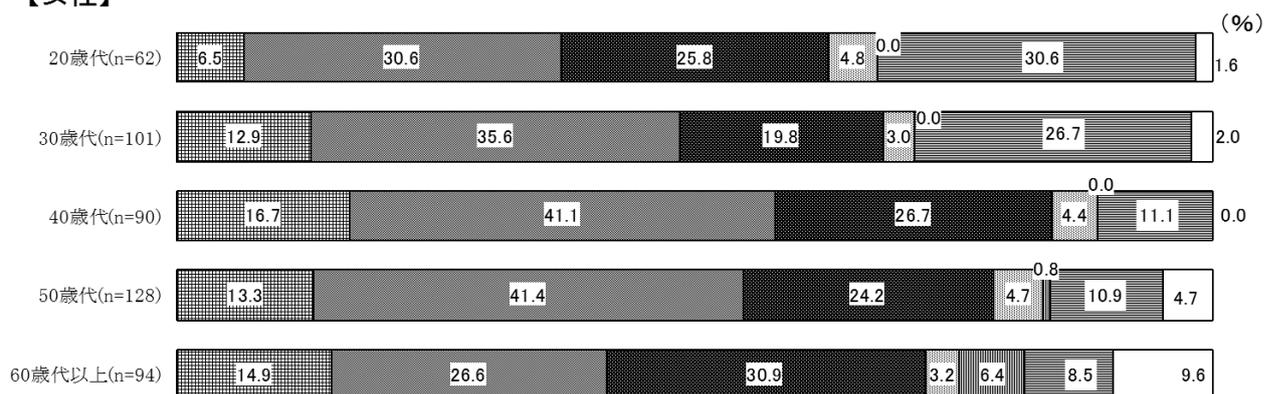
参考 平成17年10月調査結果

【性別】

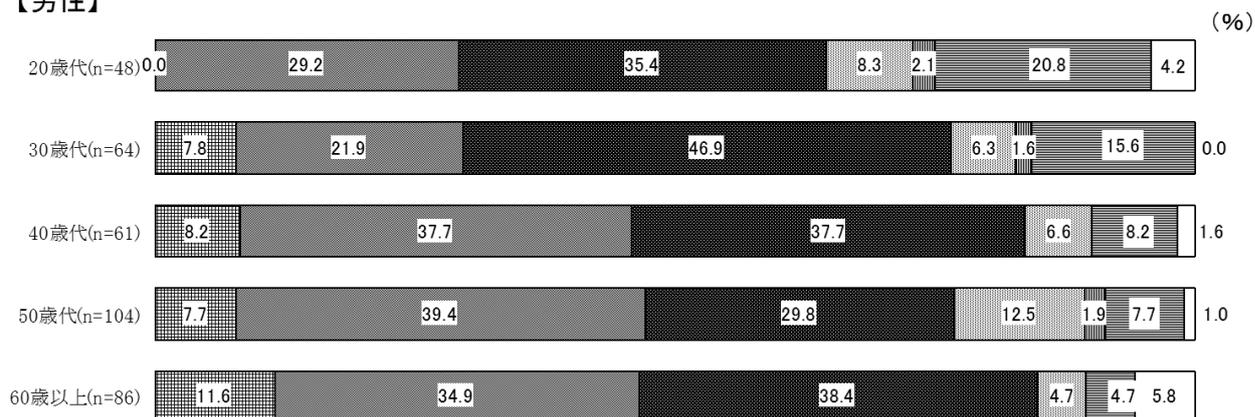


【性・年齢別】

【女性】

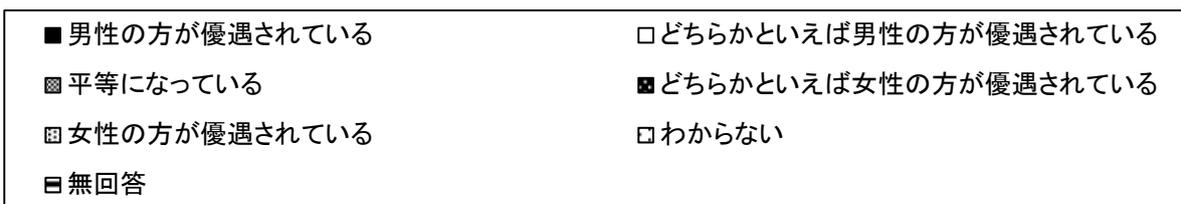
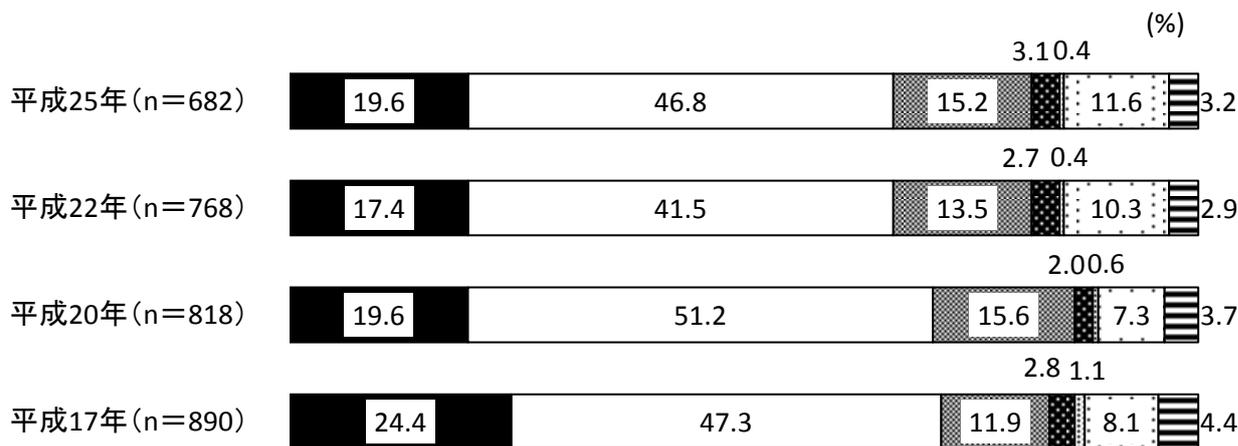


【男性】



(5) 社会通念・慣習・しきたり

【全体】



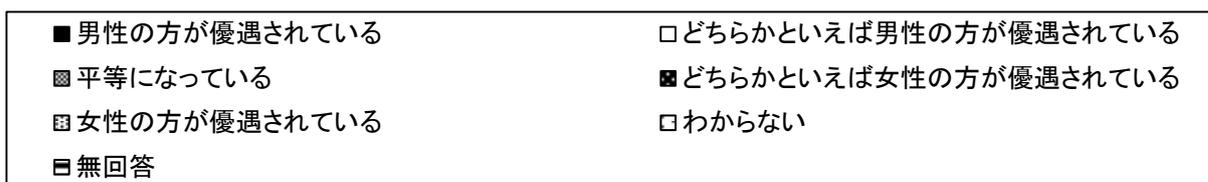
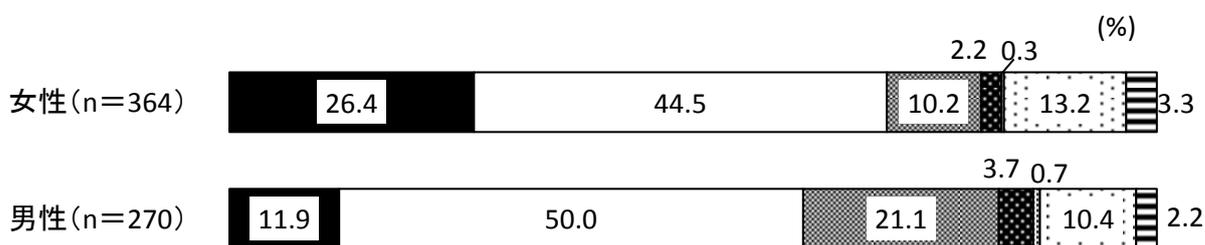
○内閣府 (H24.10)「平等」21.4%

○佐野市 (H24.11)「平等になっている」19.3%

○栃木県 (H21.11)「平等になっている」12.4%

社会通念・慣習・しきたりにおいて「平等」と感じている人の割合は、平成17年調査に比べ3.3ポイント増加している。これに対し、「男性が優遇(計)」は、66.4%と平成17年調査から5.3ポイント減少している。

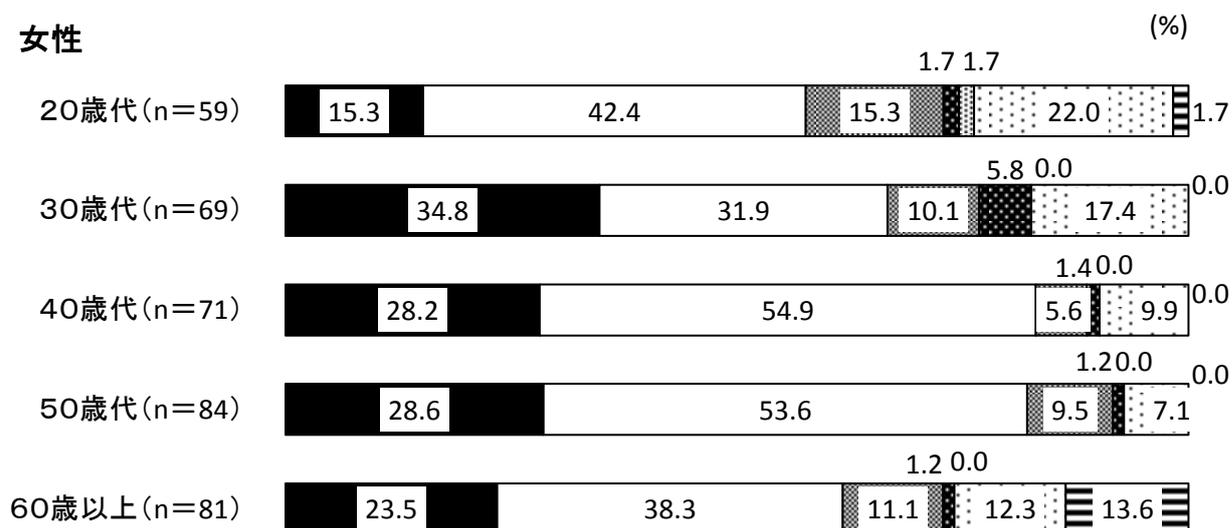
【性別】



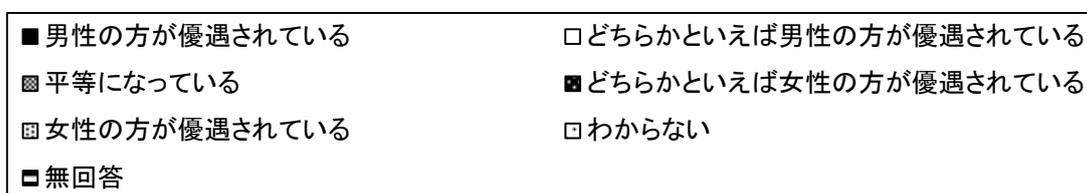
「平等」と感じている人の割合は、女性が10.2%であるのに対し、男性は10.9ポイント多い21.1%となっており、どちらも平成17年調査からは増加している。特に男性は、6.5ポイント増加と女性に比べ増加が大きい。

【性・年齢別】

女性



男性

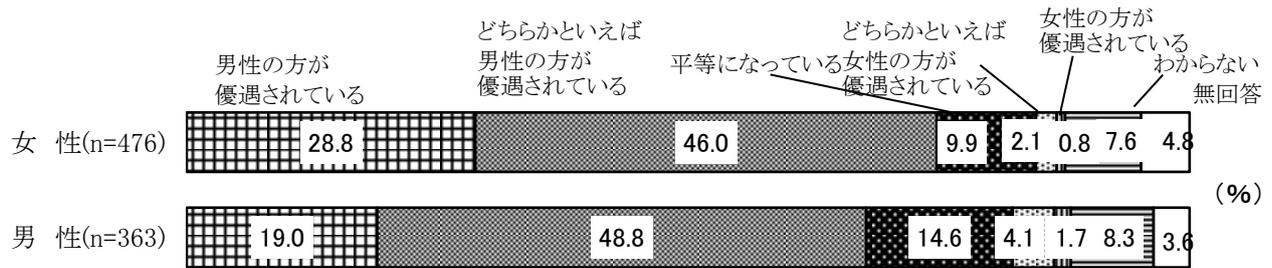


社会通念・慣習・しきたりにおいて、「平等」と感じている人の割合で男性は全ての年代で10%を超えているが、女性は40・50歳代で10%を下回っている。これに対し「男性が優遇(計)」は、女性の40・50歳代で8割を超えており、男性の50歳代では72.7%とそれぞれ高い割合になっている。

社会通念・慣習・しきたり

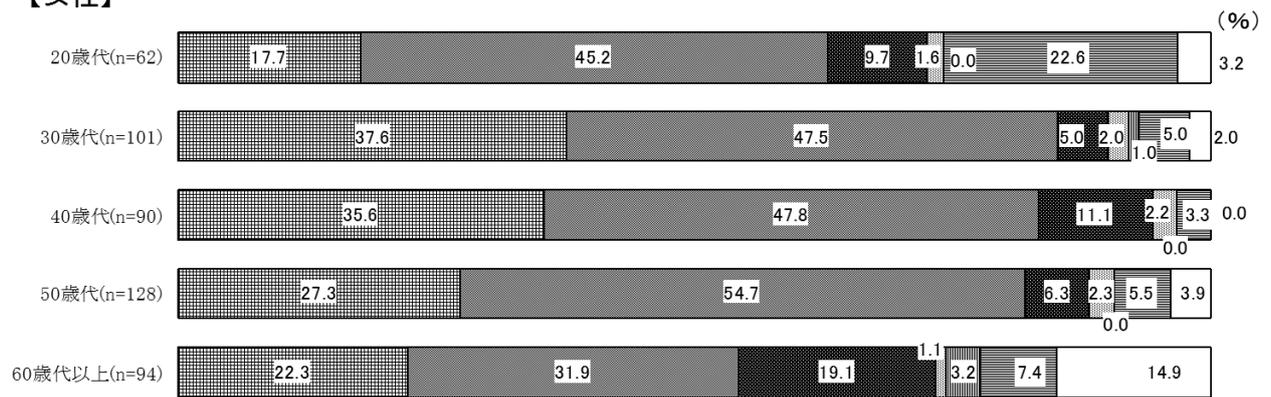
参考 平成17年10月調査結果

【性別】

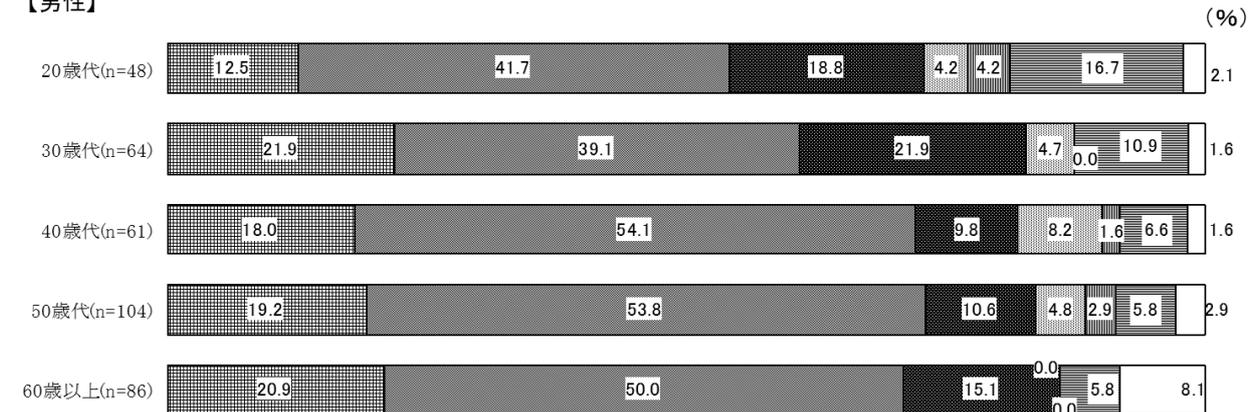


【性・年齢別】

【女性】

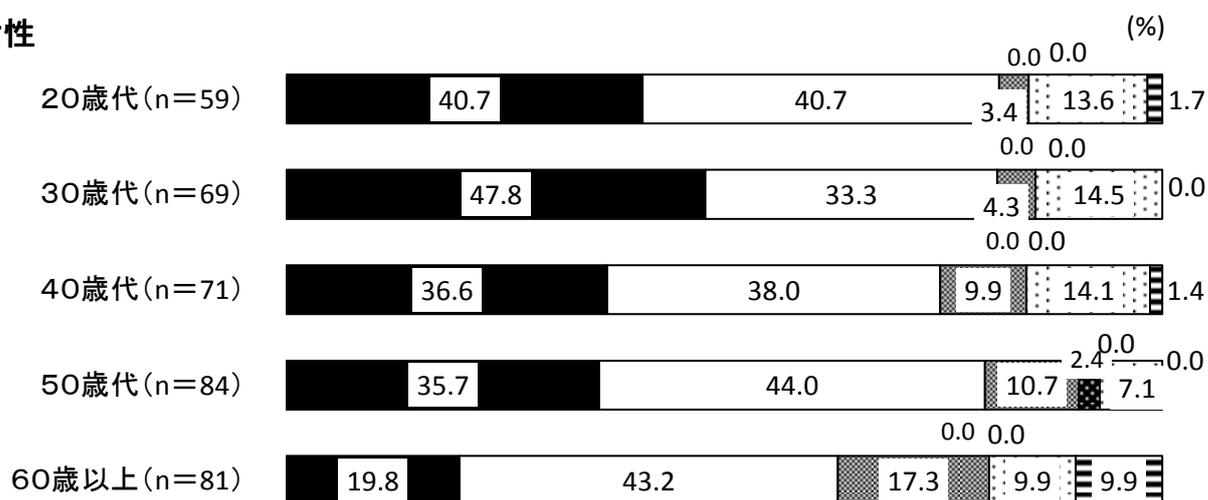


【男性】

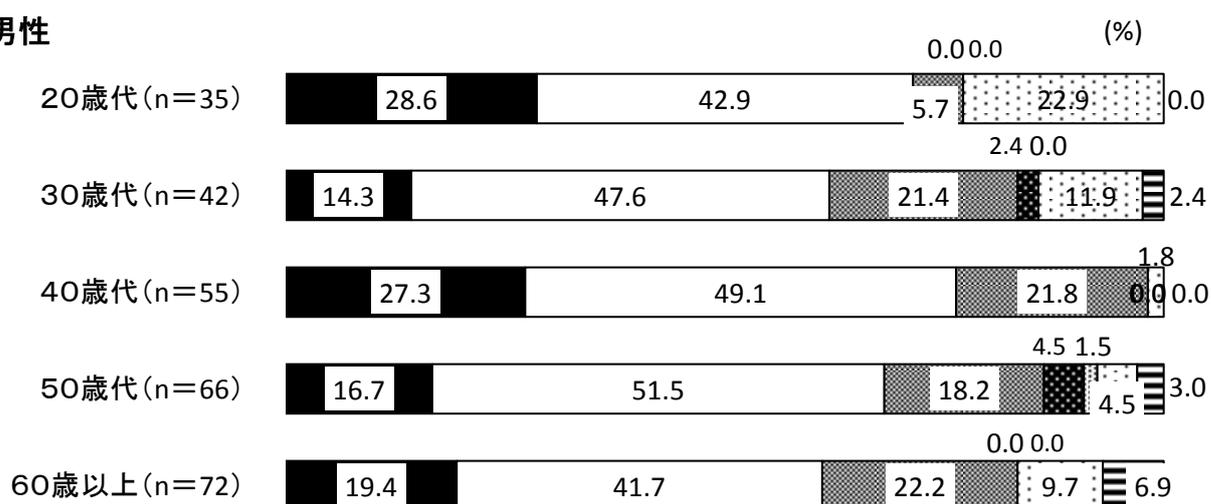


【性・年齢別】

女性



男性



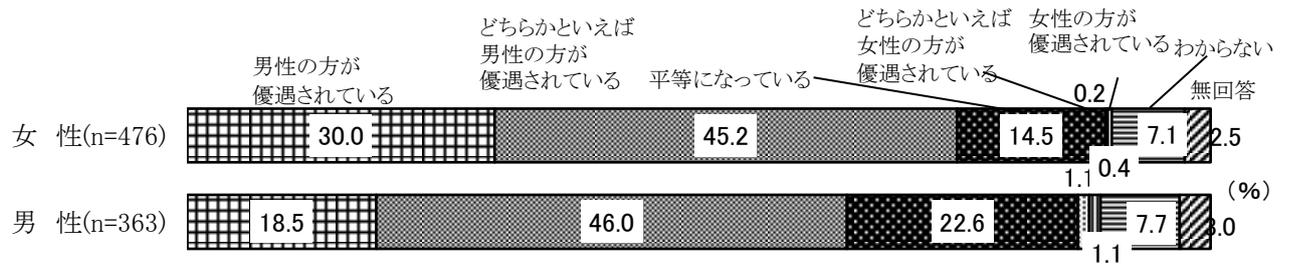
- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ 平等になっている
- ▤ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▧ 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

政治の場において、「平等」と感じている人の割合が最も高い年代は、男女ともに60歳以上であり、60歳以上の女性は17.3%、60歳以上の男性は22.2%となっている。これに対し、最も低い年代は、男女とも20歳代であり、若い世代のほうが政治の場において男女差を感じている傾向にある。

政治の場

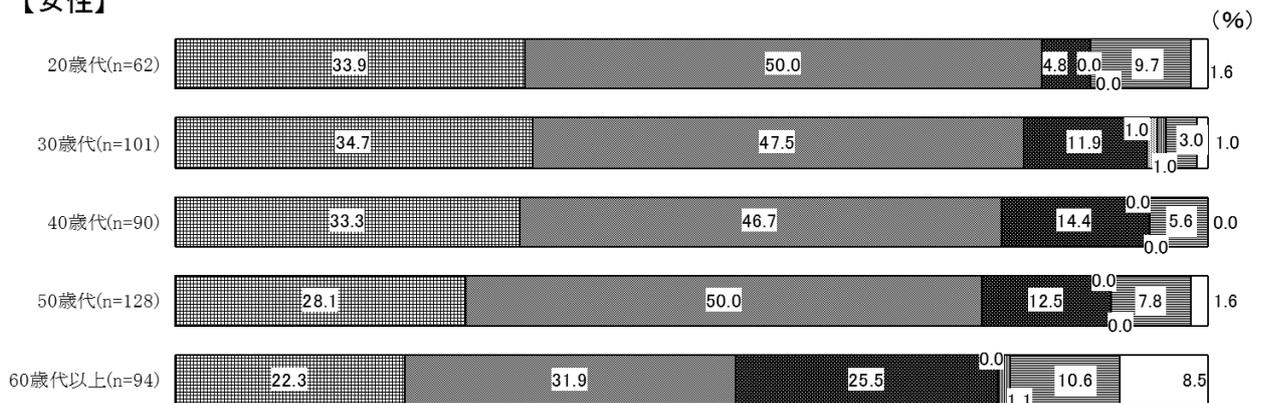
参考 平成17年10月調査結果

【性別】

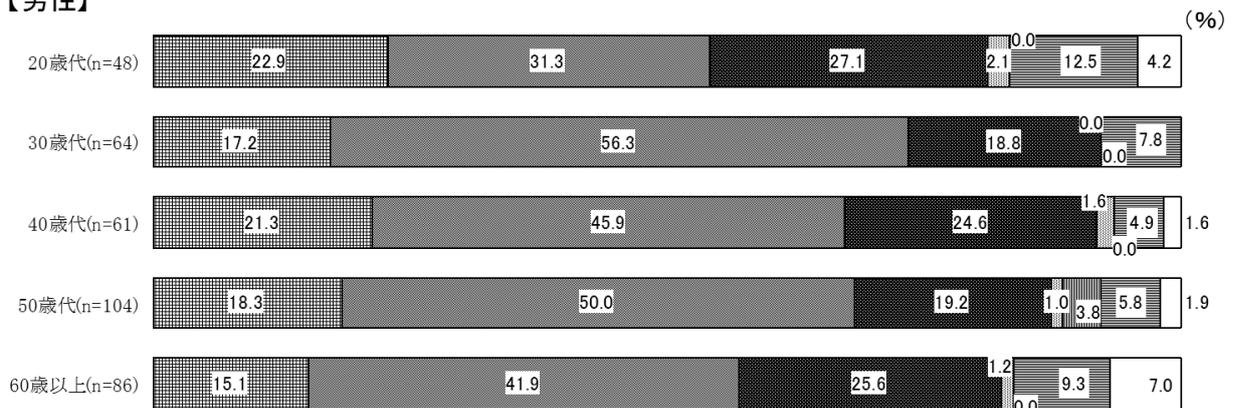


【性・年齢別】

【女性】

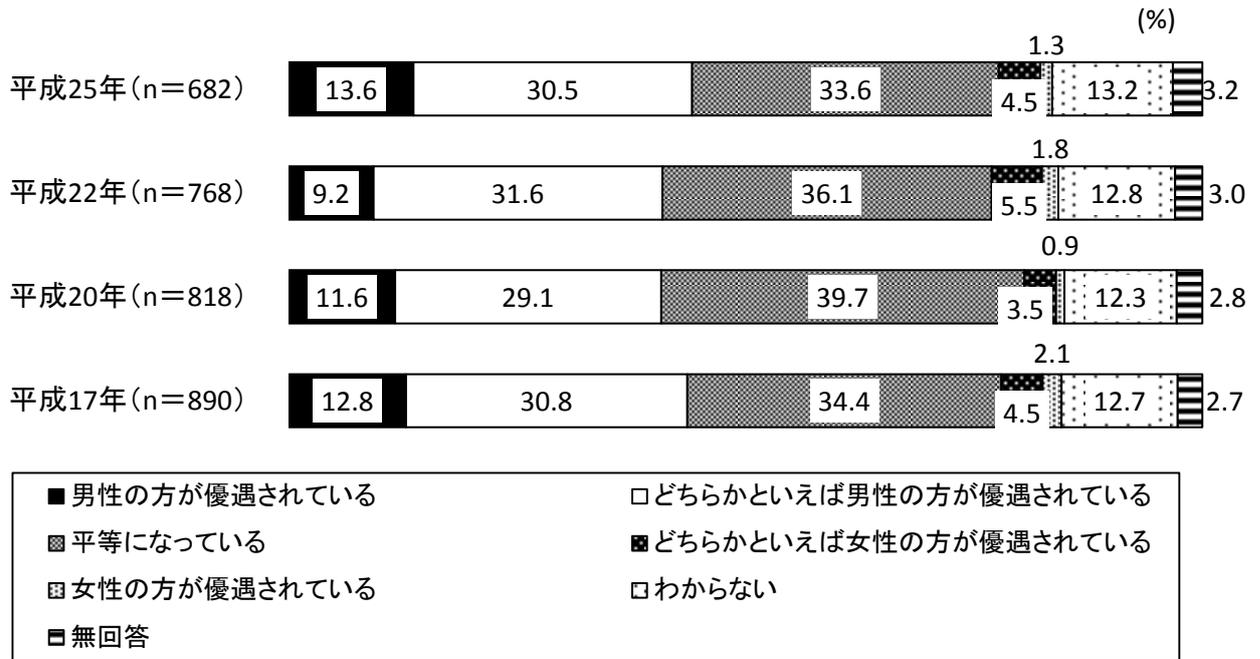


【男性】



(7) 法律や制度

【全体】

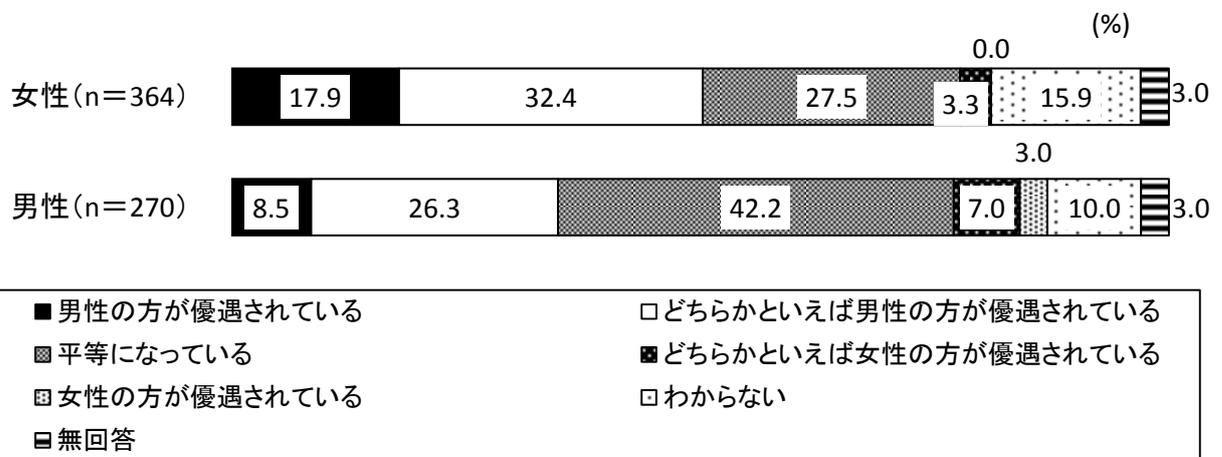


○内閣府 (H24.10)「平等」45.4%
○栃木県 (H21.11)「平等になっている」33.3%

○佐野市 (H24.11)「平等になっている」36.7%

法律や制度において「平等」と感じている人の割合は、33.6%と最も高かった平成20年調査から6.1ポイント減少している。これに対し、「男性が優遇(計)」は、44.1%と前回調査に比べて3.3ポイント増加している。

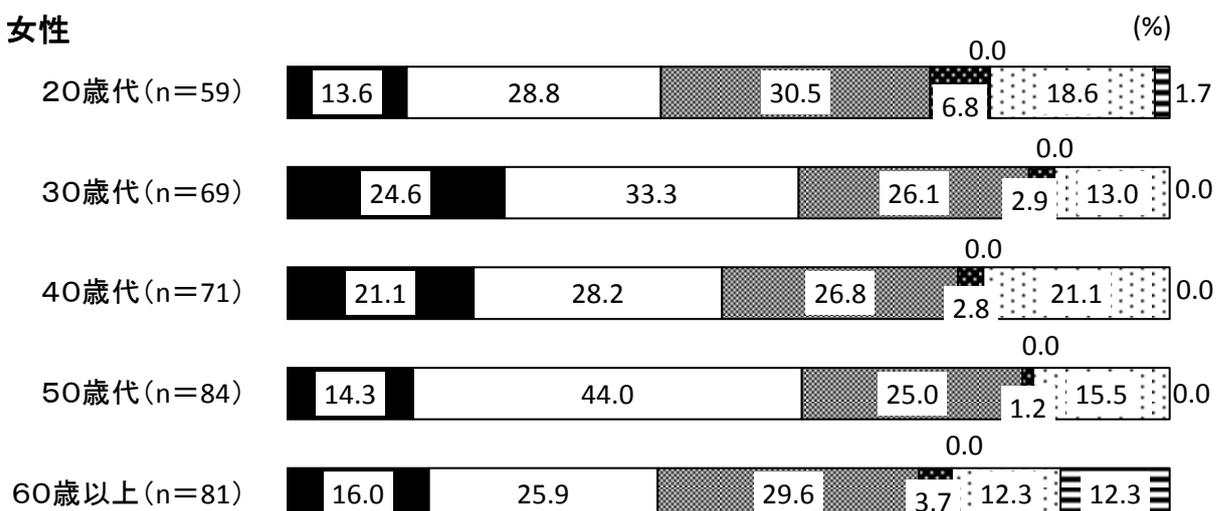
【性別】



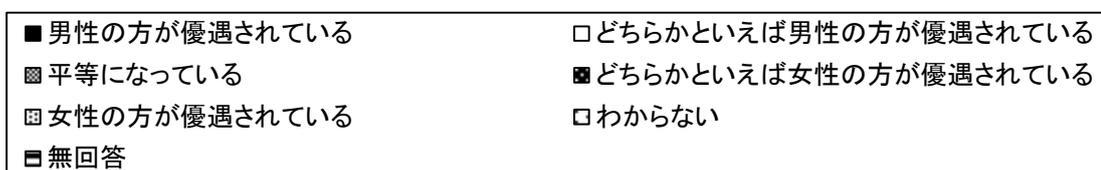
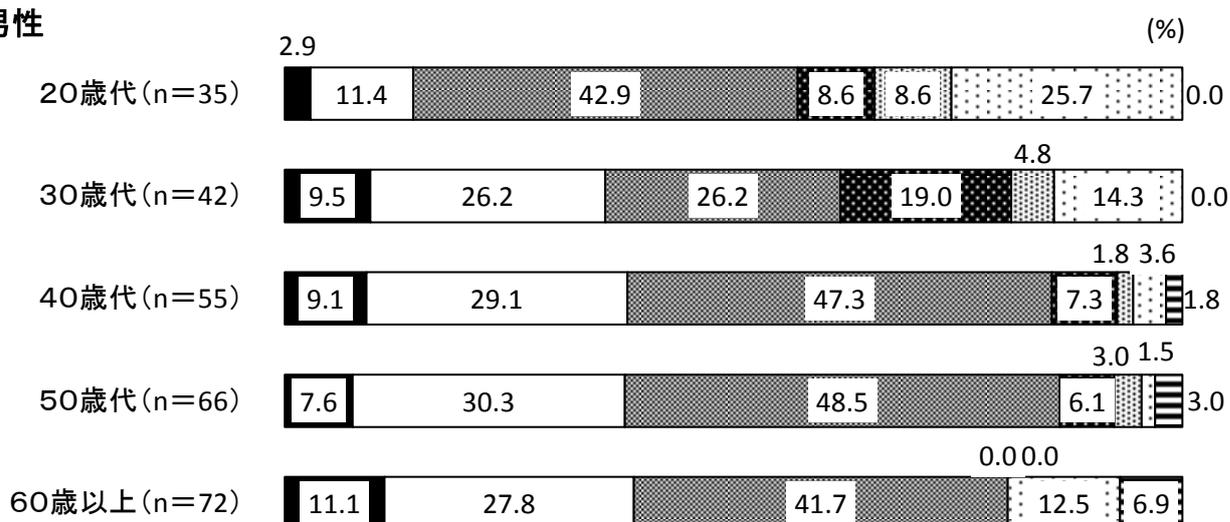
「平等」と感じている人の割合は、女性が27.5%であるのに対し、男性は14.7ポイント多い42.2%となっている。また、平成17年調査と比べると「平等」と感じている男性が3.3ポイント減少している。

【性・年齢別】

女性



男性

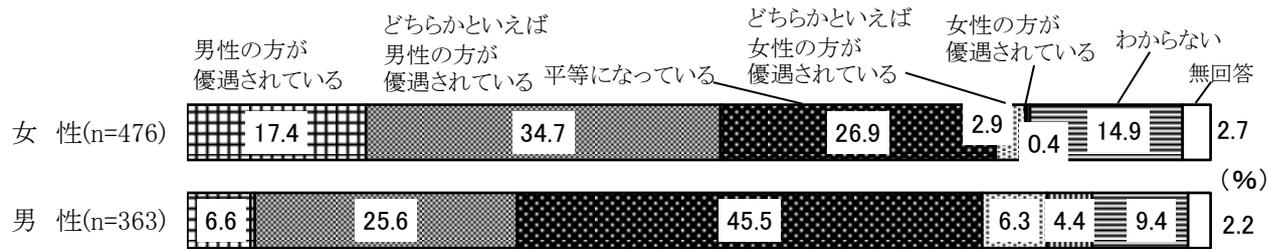


法律や制度において、「平等」と感じている人の割合は、女性が平成17年調査と比べて20・30・40歳代で増加傾向にあり、特に20歳代は6.3ポイント増加している。一方で、男性の30歳代は、平成17年調査から22.2ポイントと大きく減少している。

法律や制度

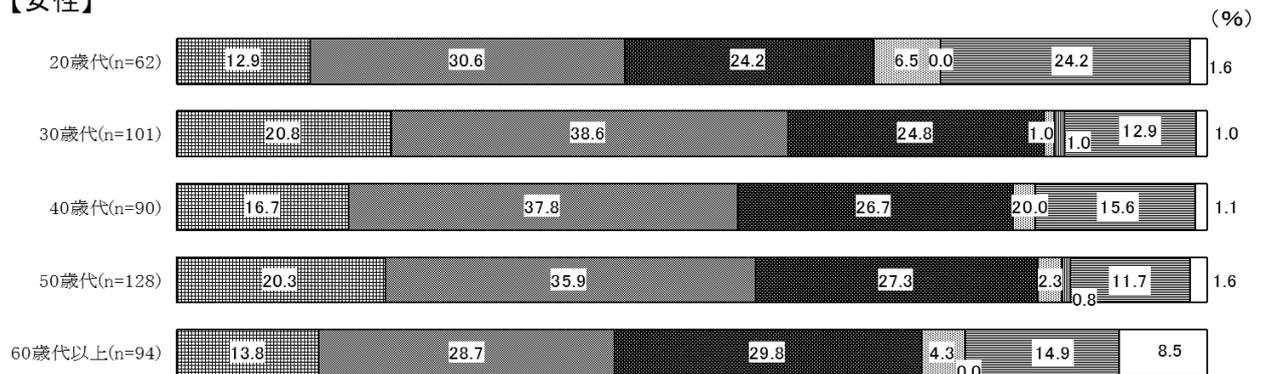
参 考 平成17年10月調査結果

【性 別】

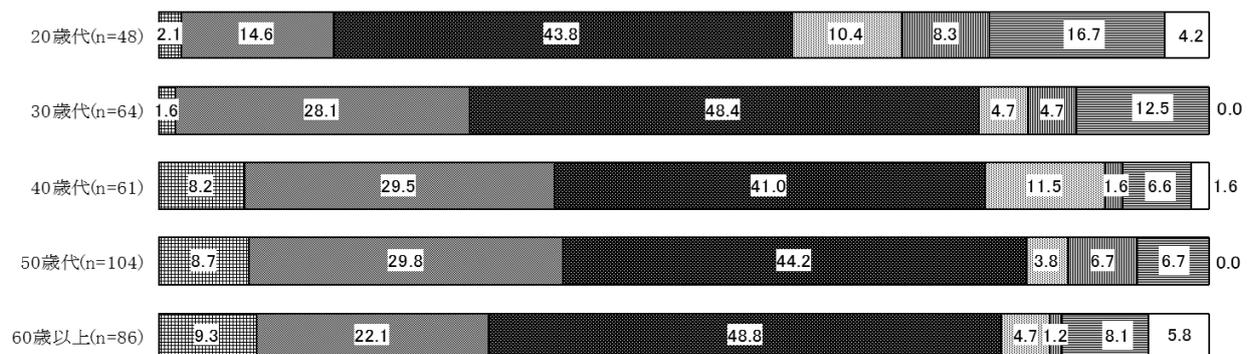


【性・年齢別】

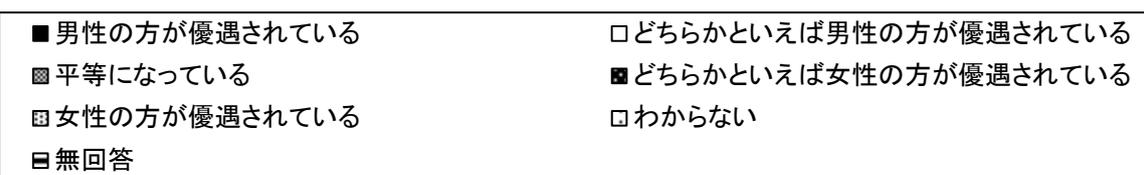
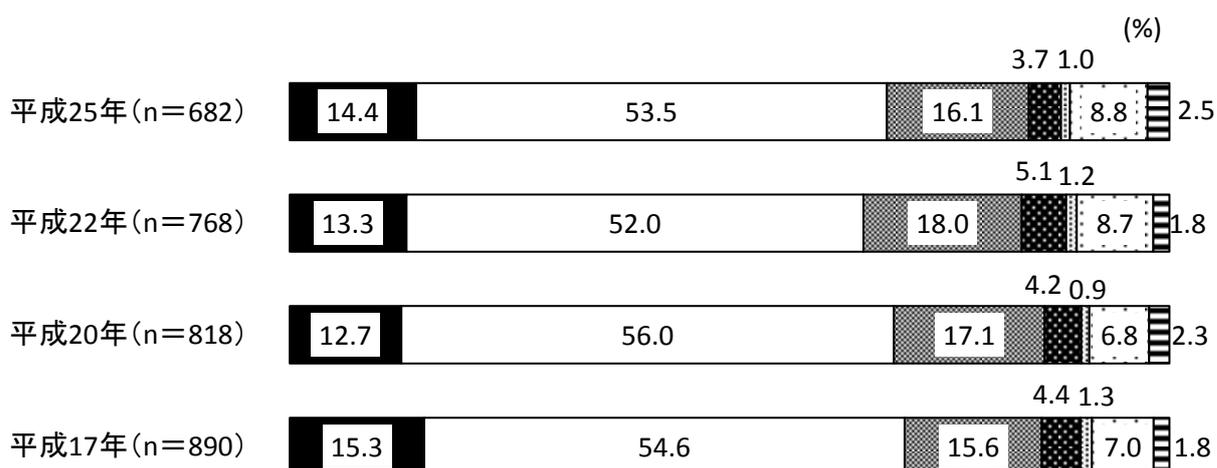
【女性】



【男性】



(8) 社会全体
【全体】



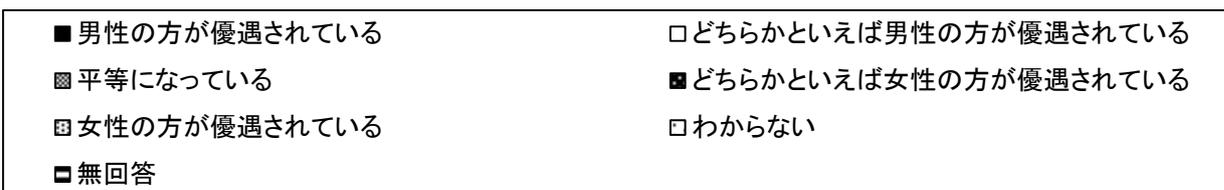
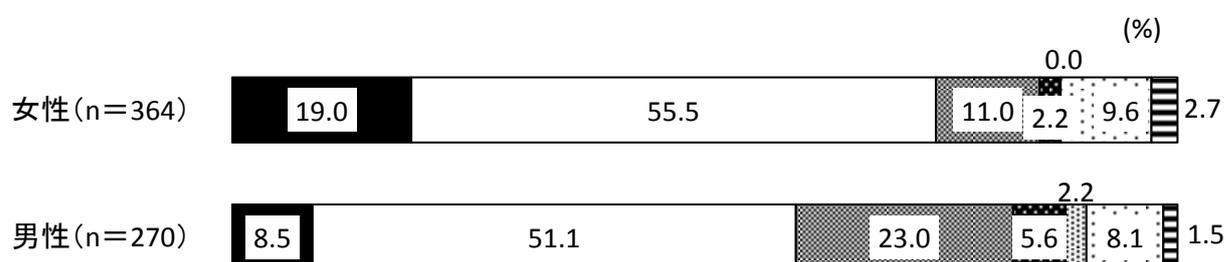
○内閣府 (H24.10) 「平等」24.6%

○佐野市 (H24.11) 「平等になっている」21.7%

○栃木県 (H21.11) 「平等になっている」18.5%

社会全体において「平等」と感じている人の割合は、前回調査に比べ1.9ポイント減少している。また、「男性が優遇(計)」と感じている人の割合は、67.9%と平成17年調査開始から依然として高い。

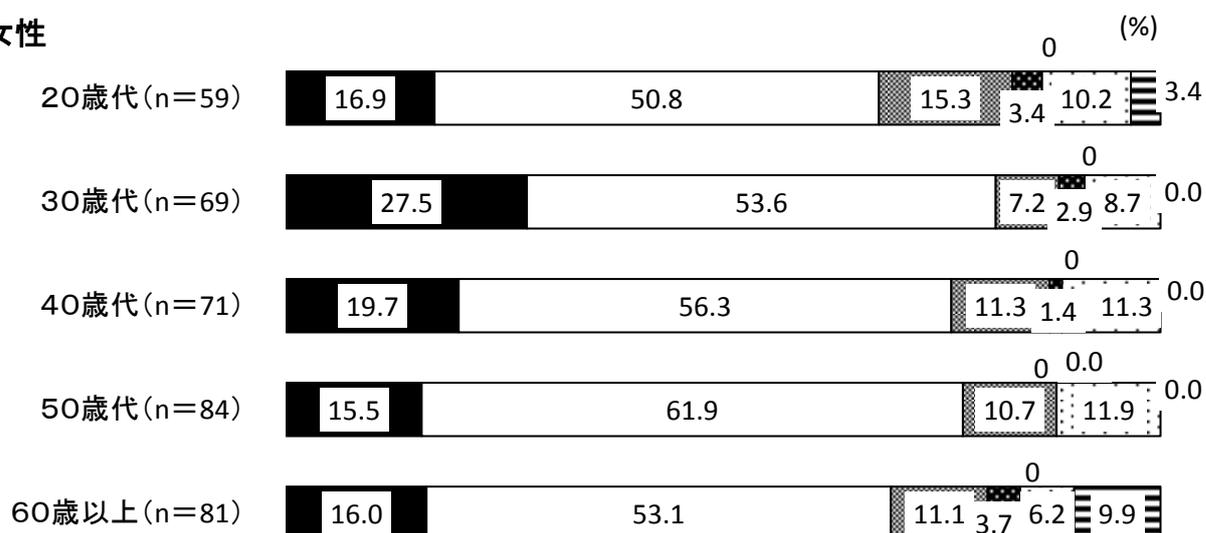
【性別】



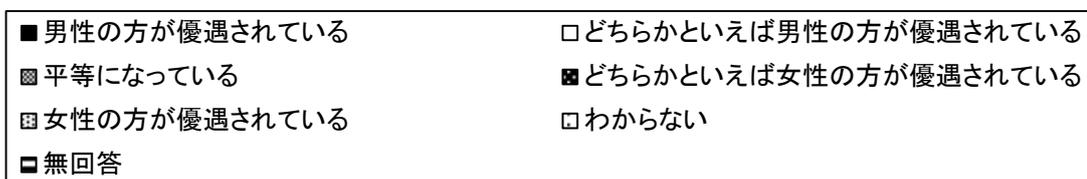
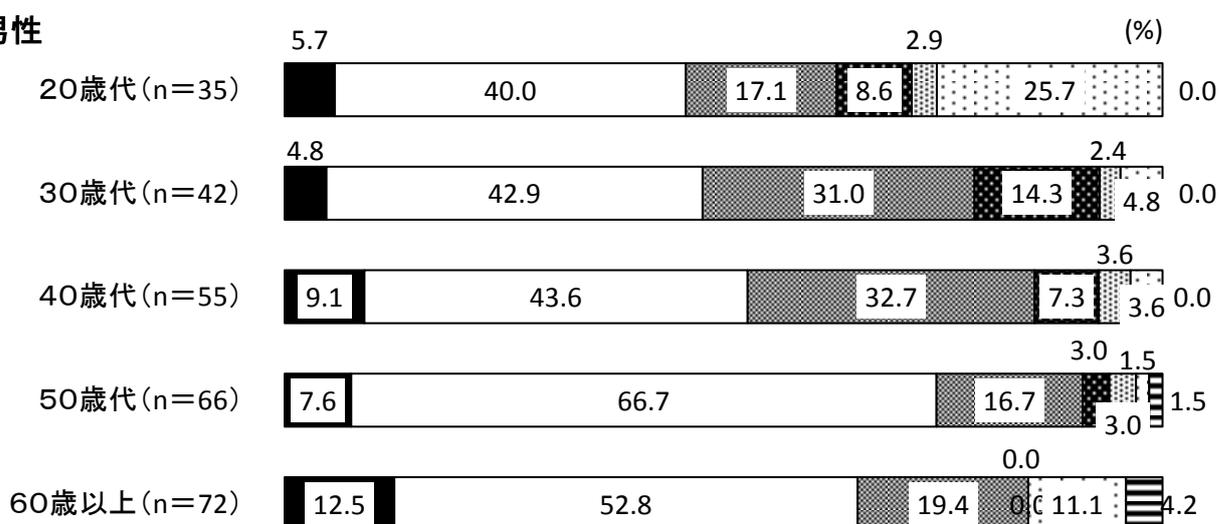
「平等」と感じている人の割合は、女性が11.0%であるのに対し、男性は12ポイント多い23.0%となっている。また平成17年調査と比べると、「平等」と感じる女性が2.4ポイント減少している一方、男性は4.5ポイント増加している。

【性・年齢別】

女性



男性

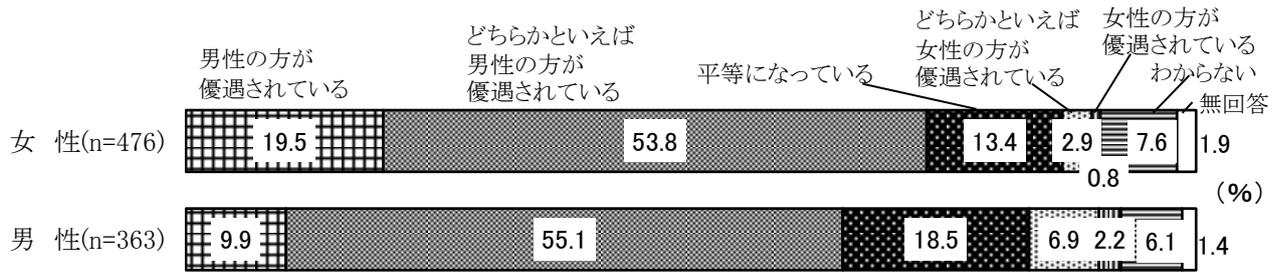


社会全体において、「平等」と感じている人の割合で、女性は平成17年調査と比べ30・40歳代、60歳以上で減少しており、特に60歳以上は11.2ポイント減少している。これに対し、「平等」と感じている男性は、20歳代を除く全ての年代で増加しており、男女間に差がある。

社会全体

参考 平成17年10月調査結果

【性別】

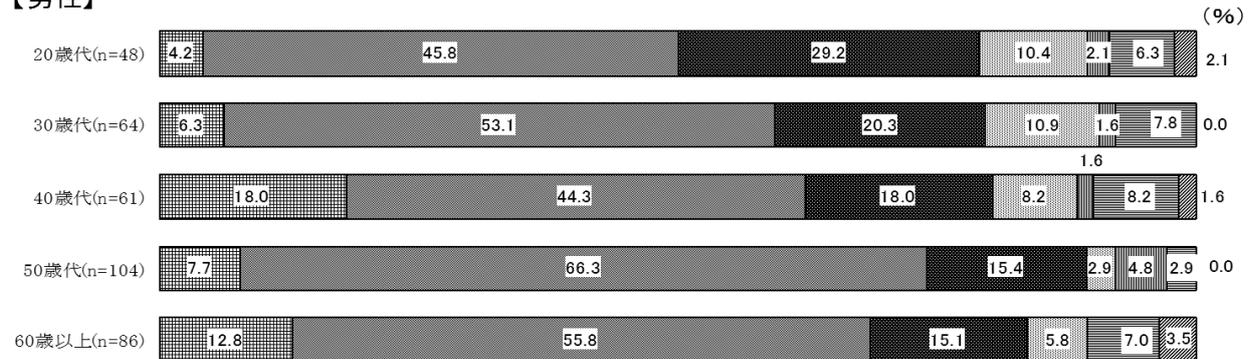


【性・年齢別】

【女性】



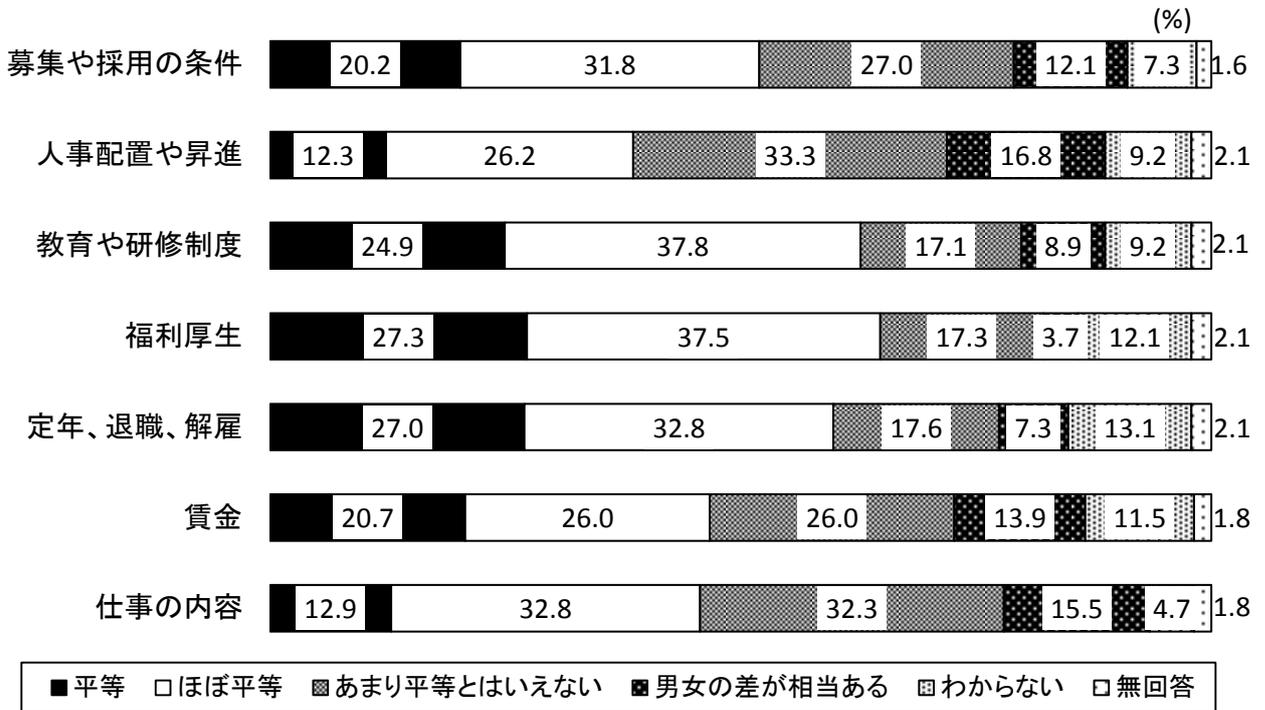
【男性】



[2] 職場における男女平等

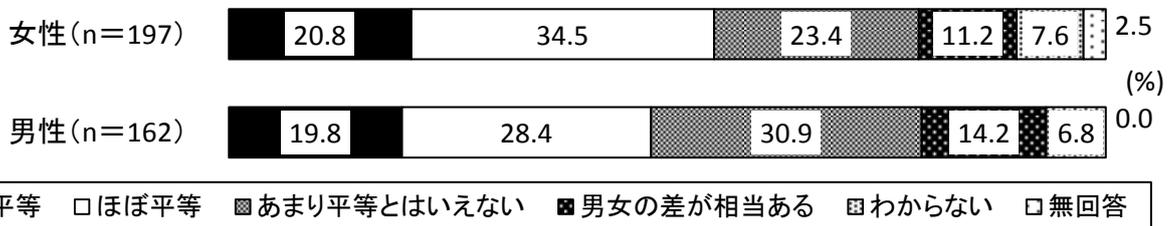
問2 勤め人の方におたずねします。(1ページの職業が 4. 及び 5. の方)

あなたの職場では、次の(1)～(7)のことがらについて、男女平等になっていると思いますか。それぞれについて1つずつお選びください。(〇は1つずつ)



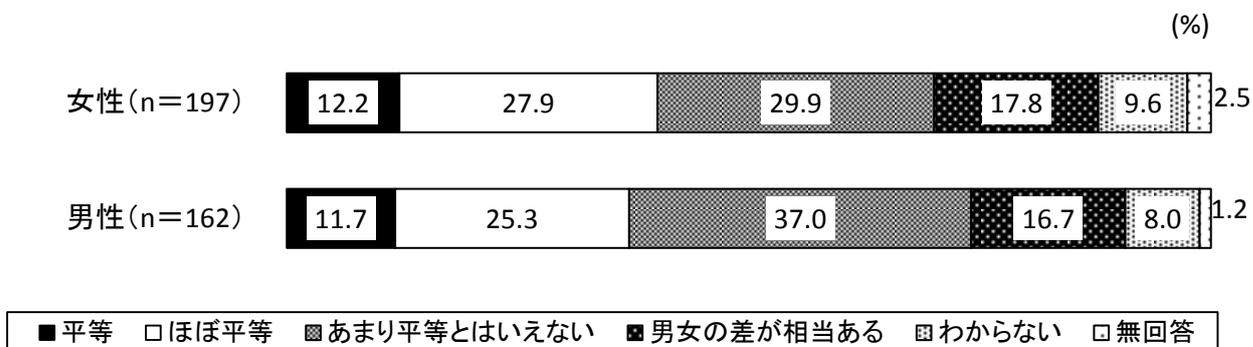
職場での男女平等について、「平等」、「ほぼ平等」と感じている人の割合は、「人事配置や昇進」、「賃金」、「仕事の内容」以外の項目で5割を超え、また、平成17年調査に比べ「福利厚生」、「仕事の内容」を除き増加している。「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合は、平成17年調査に比べ「募集や採用条件」、「福利厚生」、「定年・退職等」、「仕事の内容」の項目で増加している。

① 募集や採用の条件



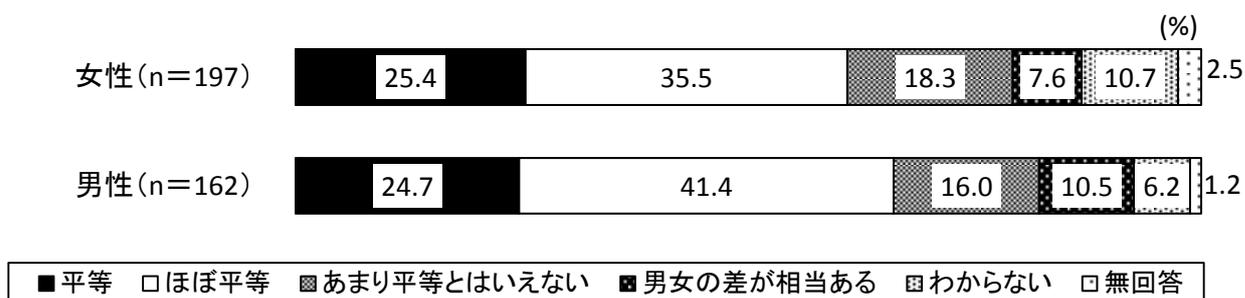
「平等」、「ほぼ平等」と感じている人を合わせた割合は、男性より女性のほうが7.1ポイント多く、「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合は、女性より男性のほうが10.5ポイント多い。

②人事配置や昇進



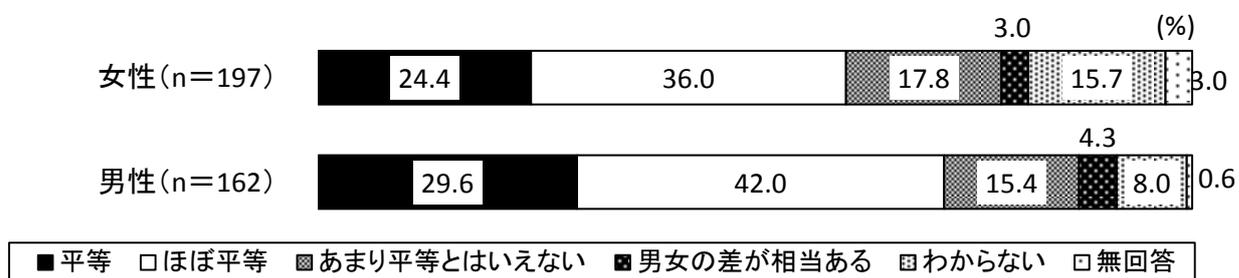
「平等」、「ほぼ平等」と感じている人を合わせた割合は、男女差が3.1ポイントだが、「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合は、女性より男性のほうが6ポイント多い。

③教育や研修制度



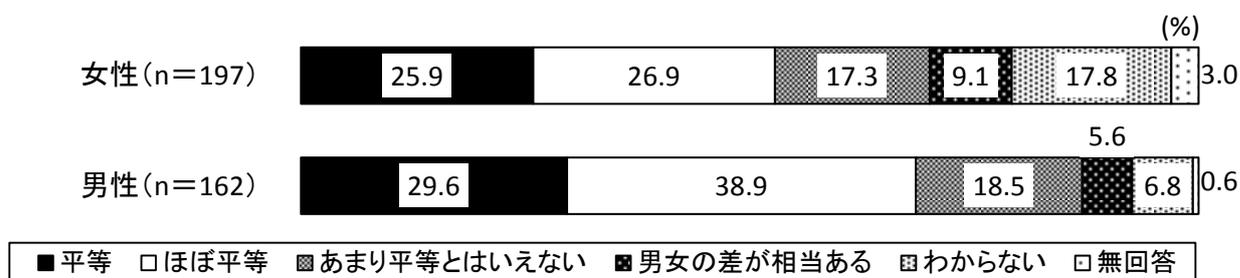
「平等」、「ほぼ平等」と感じている人を合わせた割合は、女性より男性のほうが5.2ポイント多く、「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合も、女性より男性のほうが0.6ポイント多い。

④福利厚生



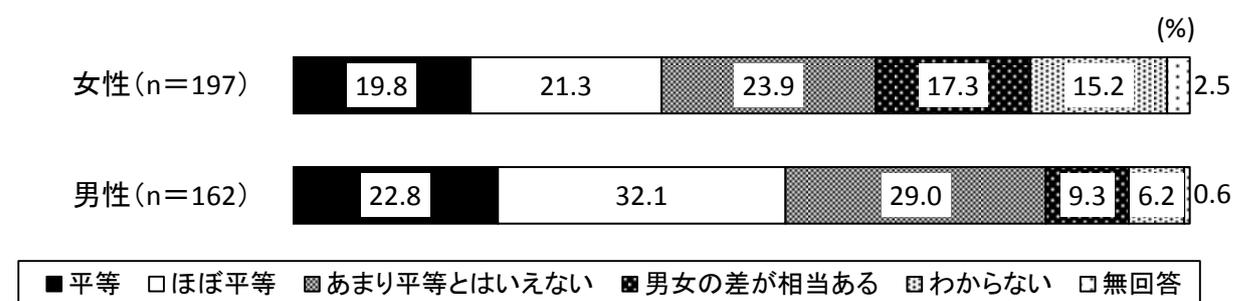
「平等」、「ほぼ平等」と感じている人を合わせた割合は、女性より男性のほうが11.2ポイント多く、「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合は、男性より女性のほうが1.1ポイント多いが、その差は小さい。

⑤定年・退職・解雇



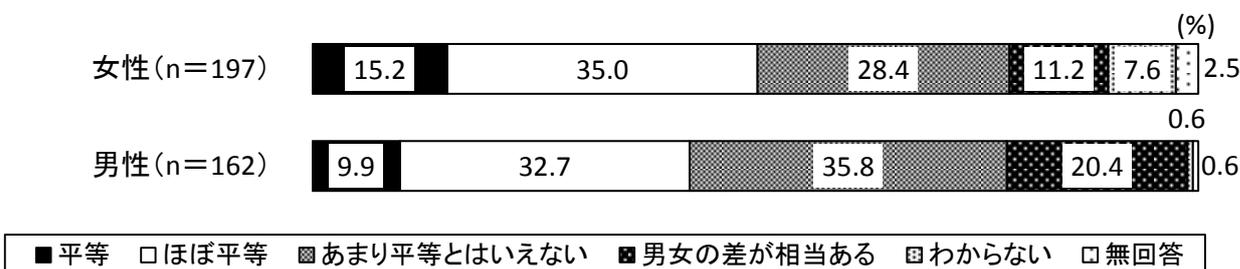
「平等」、「ほぼ平等」と感じている人を合わせた割合は、女性より男性のほうが15.7ポイント多く、「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合は、男性より女性のほうが2.3ポイント多い。

⑥賃金



「平等」、「ほぼ平等」と感じている人を合わせた割合は、女性より男性のほうが13.8ポイント多く、「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合は、男性より女性のほうが2.9ポイント多い。

⑦仕事の内容



「平等」、「ほぼ平等」と感じている人を合わせた割合は、男性より女性のほうが7.6ポイント多く、「あまり平等とはいえない」、「男女の差が相当ある」と感じている人を合わせた割合は、女性より男性のほうが16.6ポイント多い。

参 考 平成17年10月調査結果

